

3 高額障害福祉サービス費・高額障害児通所給付費支給処理業務

3. 1 受け渡し概要図

3. 1. 1 高額障害福祉サービス費・高額障害児通所給付費支給処理情報受け渡し概要

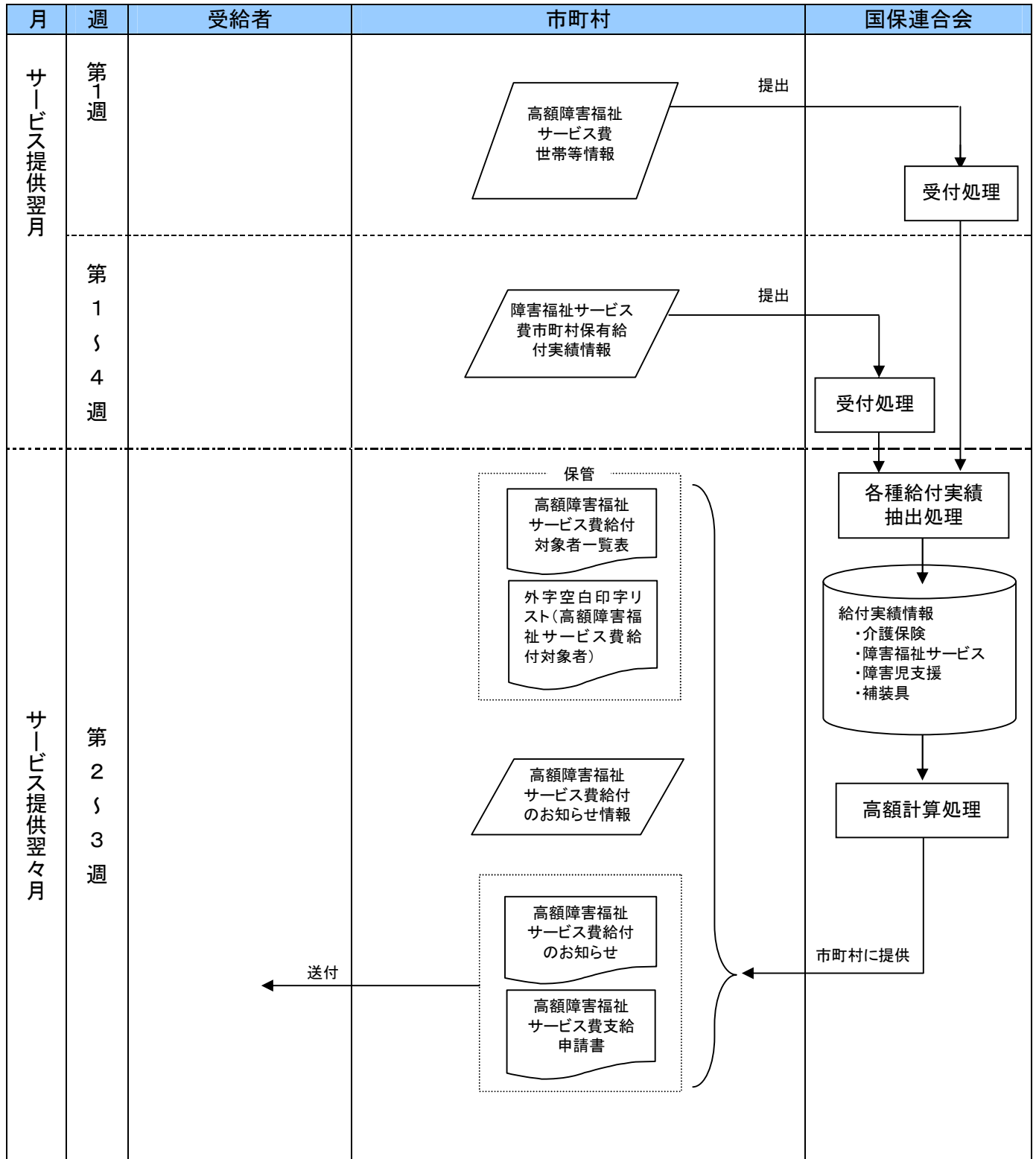
(1)申請書等

市町村	国保連合会
<p>1. 市町村は、高額障害福祉サービス費・高額障害児通所給付費支給処理業務を国保連合会に委託している場合、高額障害福祉サービス費世帯等異動連絡票情報・高額障害児給付費世帯等異動連絡票情報を国保連合会に提出する。</p> <p>2. 市町村は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報・障害児給付費都道府県等保有給付実績情報を国保連合会に提出する。</p> <p>4. 市町村は、高額障害福祉サービス費給付のお知らせ、高額障害福祉サービス費支給申請書、高額障害児給付費給付のお知らせ、高額障害児給付費支給申請書を受給者に送付する。</p>	<p>3. 国保連合会は、提出された情報(※1)より、高額計算に必要な各種給付実績を抽出する。 各種給付実績をも元に高額関連の各種資料(※2)を市町村に提供する。</p>
<p>備考</p> <p>※1:国保連合会で以下の給付実績を保有していることが高額障害福祉サービス費・高額障害児通所給付費の正確な算定の前提条件となる。</p> <p>①高額介護サービス費を算定した後の介護保険の給付実績をすべて保有していること。</p> <p>②介護給付・訓練等給付費等の給付実績をすべて保有していること(償還払い分も含む)。</p> <p>③障害児通所給付費、障害児入所給付費の給付実績をすべて保有していること。</p> <p>④補装具費の給付実績をすべて保有していること。</p> <p>※2:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 3. 2 インタフェース一覧」参照。</p>	

高額障害福祉サービス費・高額障害児通所給付費支給処理情報受け渡し概要図

下記内容は、高額障害福祉サービス費での説明である。

(1) 申請書等



高額障害福祉サービス費・高額障害児通所給付費支給処理情報受け渡し概要

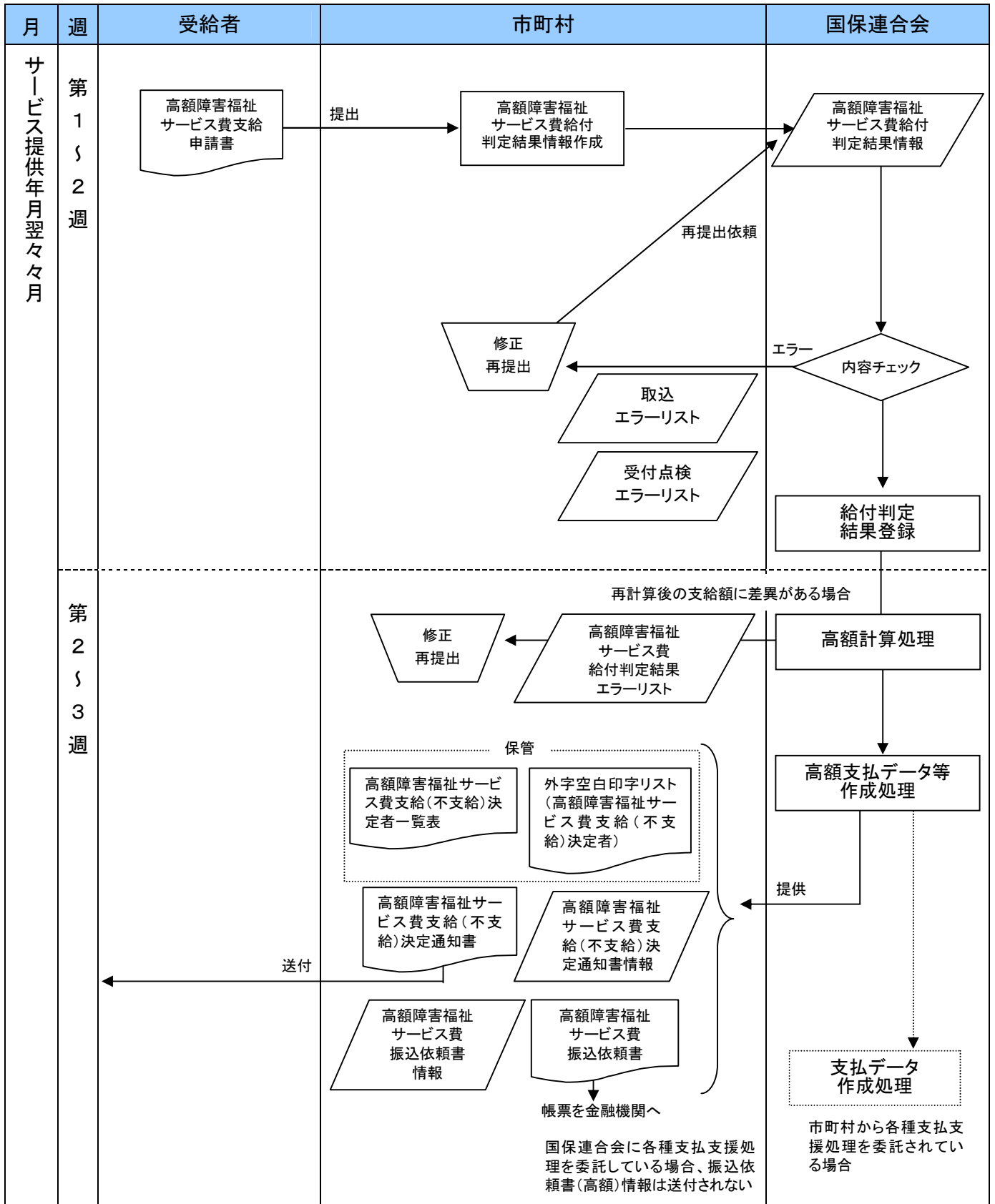
(2) 支給(不支給)決定通知書等

市町村	国保連合会
<p>1. 市町村は、受給者から高額障害福祉サービス費支給申請書・高額障害児給付費支給申請書を受付け、高額障害福祉サービス費給付判定結果情報・高額障害児給付費給付判定結果情報を作成し、国保連合会に提出する(※1)。</p> <p>3. 市町村は、エラー内容の修正を行い、再度、国保連合会に提出する。(以降、エラーが無くなるまで繰り返す)</p> <p>6. 市町村は、高額障害福祉サービス費支給(不支給)決定通知書・高額障害児給付費支給(不支給)決定通知書を受給者に送付する。</p> <p>7. 市町村は、高額障害福祉サービス費振込依頼書を金融機関に送付する。(※3)</p>	<p>2. 国保連合会は、高額障害福祉サービス費給付判定結果情報・高額障害児給付費給付判定結果情報の内容チェックを行い、エラーがあれば市町村に取込エラーリスト、受付点検エラーリストを提供し、再提出を依頼する。</p> <p>4. 給付判定結果において再計算依頼があるデータについては、当月分の高額計算処理と一緒に高額の計算を行う(給付実績は最新情報となる)。差異が発生しなければ、当月の支払処理と同時に支払いを行う。また、差異が発生した場合は、高額障害福祉サービス費給付実績判定結果エラーリストを提供する。</p> <p>5. 国保連合会は、高額障害福祉サービス費支給(不支給)決定者一覧表等(※2)を作成し、市町村に提供する。</p>
<p>備考</p> <p>※1: 高額障害福祉サービス費給付判定結果情報・高額障害児給付費給付判定結果情報は、同一受給者証番号、同一サービス提供年月で情報を1件にまとめ、国保連合会に提出すること。</p> <p>※2: 「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 3.2 インタフェース一覧」参照。</p> <p>※3: 市町村が各種支払支援処理を委託している場合、振込依頼書(高額)の作成は行わない。</p>	

高額障害福祉サービス費支給処理情報受け渡し概要図

下記内容は、高額障害福祉サービス費での説明である。

(2) 支給(不支給)決定通知書等



3. 2 インタフェース一覧

3. 2. 1 高額障害福祉サービス費支給処理情報（入力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	FC11	高額障害福祉サービス費給付判定結果情報	高額障害福祉サービス費の市町村での判定結果情報	市町村 → 国保連合会	月次	伝送

3. 2. 2 高額障害福祉サービス費支給処理情報（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	FC21	高額障害福祉サービス費給付のお知らせ情報	高額障害福祉サービス費の給付対象となる受給者への通知情報	国保連合会 → 市町村	月次	伝送
(2)	FC31	高額障害福祉サービス費支給(不支給)決定通知書情報	高額障害福祉サービス費に対する、支給または不支給の受給者への通知情報	国保連合会 → 市町村	月次	伝送
(3)	FC41	高額障害福祉サービス費振込依頼書情報	金融機関に振り込みを行ってもらうための口座・金額等の振込依頼書情報(各種支払支援処理を委託しない場合に作成する)	国保連合会 → 市町村	月次	伝送
(4)	FCA1	高額障害福祉サービス費給付対象者一覧表	高額障害福祉サービス費給付対象となる受給者の一覧表	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(5)	FCB1	高額障害福祉サービス費給付のお知らせ	高額障害福祉サービス費の給付対象となる受給者への通知	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(6)	FCC1	高額障害福祉サービス費支給申請書	高額障害福祉サービス費の給付対象となる受給者が提出するための申請書	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(7)	FCD1	外字空白印字リスト (高額障害福祉サービス費給付対象者)	高額障害福祉サービス費給付対象者一覧表等で、受給者の漢字氏名・住所の外字部分を空白で印字した箇所の一覧	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(8)	FCE1	高額障害福祉サービス費支給(不支給)決定者一覧表	高額障害福祉サービス費に対する、支給または不支給の一覧	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(9)	FCF1	高額障害福祉サービス費支給(不支給)決定通知書	高額障害福祉サービス費に対する、支給または不支給の受給者への通知	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(10)	FCG1	外字空白印字リスト (高額障害福祉サービス費支給(不支給)決定者)	高額障害福祉サービス費支給(不支給)決定者一覧表及び高額障害福祉サービス費支給(不支給)決定通知書で、受給者の漢字氏名・住所の外字部分を空白で印字した箇所の一覧	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(11)	FCH1	高額障害福祉サービス費振込依頼書	金融機関に振り込みを行ってもらうための口座・金額等の振込依頼書(各種支払支援処理を委託しない場合に作成する)	国保連合会 → 市町村	月次	PDF

3. 2. 3 高額障害児給付費支給処理情報（入力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	CC11	高額障害児給付費給付判定結果情報	高額障害児通所給付費の市町村での判定結果情報	市町村 → 国保連合会	月次	伝送

3. 2. 4 高額障害児給付費支給処理情報（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	CC21	高額障害児給付費給付のお知らせ情報	高額障害児通所給付費の給付対象となる受給者への通知情報	国保連合会 → 市町村	月次	伝送
(2)	CC31	高額障害児給付費支給(不支給)決定通知書情報	高額障害児通所給付費に対する、支給または不支給の受給者への通知情報	国保連合会 → 市町村	月次	伝送
(3)	CC41	高額障害児給付費振込依頼書情報	金融機関に振り込みを行ってもらうための口座・金額等の振込依頼書情報(各種支払支援処理を委託しない場合に作成する)	国保連合会 → 市町村	月次	伝送
(4)	CCA1	高額障害児給付費給付対象者一覧表	高額障害児通所給付費給付対象となる受給者の一覧表	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(5)	CCB1	高額障害児給付費給付のお知らせ	高額障害児通所給付費の給付対象となる受給者への通知	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(6)	CCC1	高額障害児給付費支給申請書	高額障害児通所給付費の給付対象となる受給者が提出するための申請書	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(7)	CCD1	外字空白印字リスト(高額障害児給付費給付対象者)	高額障害児給付費給付対象者一覧表等で、受給者の漢字氏名・住所の外字部分を空白で印字した箇所の一覧	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(8)	CCE1	高額障害児給付費支給(不支給)決定者一覧表	高額障害児通所給付費に対する、支給または不支給の一覧	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(9)	CCF1	高額障害児給付費支給(不支給)決定通知書	高額障害児通所給付費に対する、支給または不支給の受給者への通知	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(10)	CCG1	外字空白印字リスト(高額障害児給付費支給(不支給)決定者)	高額障害児給付費給付支給(不支給)決定者一覧表及び高額障害児給付費給付支給(不支給)決定通知書で、受給者の漢字氏名・住所の外字部分を空白で印字した箇所の一覧	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(11)	CCH1	高額障害児給付費振込依頼書	金融機関に振り込みを行ってもらうための口座・金額等の振込依頼書(各種支払支援処理を委託しない場合に作成する)	国保連合会 → 市町村	月次	PDF

3. 2. 5 取込エラーリスト（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	FDA1	高額障害福祉サービス費給付判定結果情報取込エラーリスト	高額障害福祉サービス費給付判定結果情報取込時のエラーリスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(2)	CGA1	高額障害児給付費給付判定結果情報取込エラーリスト	高額障害児給付費給付判定結果情報取込時のエラーリスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF

3. 2. 6 受付点検エラーリスト（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	FEA1	高額障害福祉サービス費給付判定結果情報受付点検エラーリスト	高額障害福祉サービス費給付判定結果情報受付点検時のエラーリスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(2)	CHA1	高額障害児給付費給付判定結果情報受付点検エラーリスト	高額障害児給付費給付判定結果情報受付点検時のエラーリスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF

3. 2. 7 給付判定結果エラーリスト（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	FFA1	高額障害福祉サービス費給付判定結果エラーリスト	高額障害福祉サービス費の再計算依頼があったものに対し、再計算後の支給額に差異が発生した場合に出力されるエラーリスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(2)	CIA1	高額障害児給付費給付判定結果エラーリスト	高額障害児通所給付費の再計算依頼があったものに対し、再計算後の支給額に差異が発生した場合に出力されるエラーリスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF

3. 3 項目説明

本節では、「インタフェース仕様書 共通編 1. 2. 2(2)レコードフォーマット」のデータレコードフォーマットにおいて“データ”として記載されている項目の各交換情報のインタフェースについて記載する。

なお、高額障害児入所給付費に関するインタフェース項目は、インタフェース仕様書都道府県編を参照。

3. 3. 1 高額障害福祉サービス費支給処理情報（入力情報）

(1) 高額障害福祉サービス費給付判定結果情報（FC11）

項番	項目名	属性 (※2)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	証記載市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号を設定する	◎	※C	
3	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	◎	※C	
4	サービス提供年月	コード値	6	サービス提供年月(西暦年月(YYYYMM))を設定する	◎	※Y	
5	受付年月日	コード値	8	市町村が受給者からの申請を受け付けた年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y	
6	決定年月日	コード値	8	市町村が支給または不支給を決定した年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y	
7	本人支払額	数値	6	受給者が支払った金額を設定する	◎		
8	支給区分コード	コード値	1	支給区分コードを設定する	◎	1:支給 2:不支給	
9	支給金額	数値	6	受給者に支給する金額を設定する	○	※2	
10	不支給理由	漢字	160	不支給の場合の理由を設定する	○	※3	
11	口座払	金融機関 コード	コード値	4	口座払の金融機関コードを設定する	○	※4 ※C
12		金融機関 支店コード	コード値	3			※4 ※C
13		口座種目	コード値	1			※4 ※C
14		口座番号	コード値	7			※4 ※C
15		口座名義人 (カナ)	英数	40			口座払の口座名義人(カナ)を設定する
16	再計算依頼区分	コード値	1	国保連合会に再計算を依頼するかどうかの区分コードを設定する	◎	1:依頼なし 2:再計算依頼	

※1: 必須入力(交換情報識別番号毎) ◎: 必須、○: 給付判定により必須、△: 任意設定、空白: 不要

※2: 支給区分コードが“1”の場合、必須。

※3: 支給区分コードが“2”の場合、必須。

※4: 支給区分コードが“1”の場合に設定する。ただし、国保連合会にお知らせ等の出力有りを申し出ている場合(詳細は「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 3. 4(5) 支給申請書の出力有無等の設定について」参照)で、既に高額障害福祉サービス費給付判定結果情報にて口座情報を提出していれば、省略可能。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 3. 2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

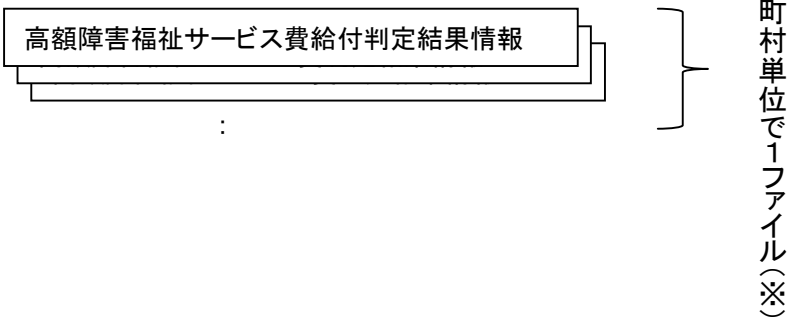
※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

高額障害福祉サービス費給付判定結果情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)

高額障害福祉サービス費給付判定結果情報



市町村単位で1ファイル(※)

※政令市で受給者証に記載する市町村番号を行政区毎に分けている場合であっても、
政令市単位で1ファイルとする

3. 3. 2 高額障害福祉サービス費支給処理情報（出力情報）

（１）高額障害福祉サービス費給付のお知らせ情報（FC21）

①明細レコード(複数レコード)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	帳票レコード種別	英数	2	帳票レコード種別を出力する	'D1' (固定値)
3	サービス提供年月	コード値	6	サービス提供年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	※Y
4	証記載市町村番号	コード値	6	受給者証記載の市町村番号を出力する	※C
5	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を出力する	※C
6	帳票題目	漢字	100	帳票題目を出力する	
7	説明文1	漢字	200	都道府県ごとに国保連合会において設定した内容を出力する	
8	受給者氏名(カナ)	英数	25	受給者氏名(カナ)を出力する	
9	受給者氏名(漢字)	漢字	40	受給者氏名(漢字)を出力する	
10	生年月日	コード値	8	受給者の生年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を出力する	※Y
11	障害福祉サービス費自己負担額	数値	9	障害福祉サービス費自己負担額の世帯合計額を出力する	
12	障害児給付費自己負担額	数値	9	障害児給付費自己負担額の世帯合計額を出力する	
13	介護保険給付費自己負担額	数値	9	介護保険給付費自己負担額の世帯合計額を出力する	
14	補装具費自己負担額	数値	9	補装具費自己負担額の世帯合計額を出力する	
15	項目名称1	漢字	40	都道府県ごとに国保連合会において設定した内容を出力する	
16	高額障害福祉サービス費支給金額	数値	9	高額障害福祉サービス費支給金額を出力する	

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
17	説明文2	漢字	200	都道府県ごとに国保連合会において設定した 内容を出力する	
18	提出・問い合わせ先 郵便番号	コード値	7	提出・問い合わせ先の郵便番号を出力する	
19	提出・問い合わせ先 住所	漢字	128	提出・問い合わせ先の住所(漢字)を出力する	
20	提出・問い合わせ先 名称1	漢字	40	提出・問い合わせ先の名称1を出力する	
21	帳票関連付け番号	コード値	6	高額障害福祉サービス費給付対象者一覧表 の No.を出力する	
22	提出・問い合わせ先 名称2	漢字	40	提出・問い合わせ先の名称2を出力する	
23	提出・問い合わせ先 電話番号	英数	15	提出・問い合わせ先の電話番号を出力する	
24	宛先郵便番号	コード値	7	受給者の郵便番号を出力する	
25	宛先住所	漢字	128	受給者の住所を出力する	
26	宛先氏名	漢字	40	受給者の氏名(漢字)を出力する	
27	宛先敬称	漢字	2	‘様’を出力する	

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 3. 2 インタフェース一覧」参照。

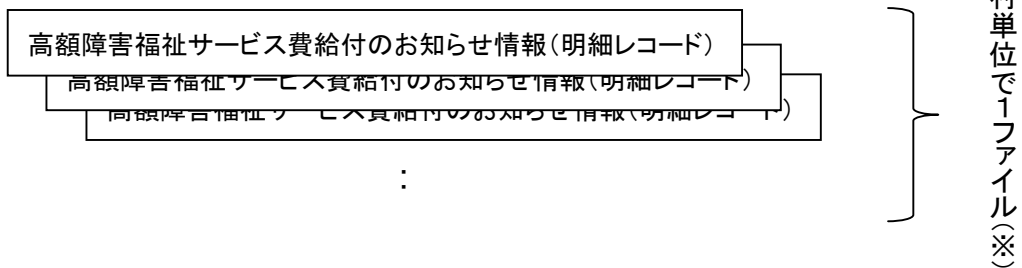
※C:「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

高額障害福祉サービス費給付のお知らせ情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



※政令市で受給者証に記載する市町村番号を行政区毎に分けている場合であっても、
政令市単位で1ファイルとする

(2) 高額障害福祉サービス費支給（不支給）決定通知書情報（FC31）

①明細レコード(複数レコード)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	帳票レコード種別	英数	2	帳票レコード種別を出力する	‘D1’ (固定値)
3	サービス提供年月	コード値	6	サービス提供年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	※Y
4	証記載市町村番号	コード値	6	受給者証記載の市町村番号を出力する	※C
5	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を出力する	※C
6	帳票題目	漢字	100	帳票題目を出力する	
7	送付先名	漢字	40	送付先名を出力する	※1
8	説明文1	漢字	200	都道府県ごとに国保連合会において設定した内容を出力する	
9	受給者氏名(カナ)	英数	25	受給者氏名(カナ)を出力する	
10	受給者氏名(漢字)	漢字	40	受給者氏名(漢字)を出力する	
11	児童氏名(カナ)	英数	25	児童氏名(カナ)を出力する	
12	児童氏名(漢字)	漢字	40	児童氏名(漢字)を出力する	
13	受付年月日	コード値	8	受付年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を出力する	※Y
14	決定年月日	コード値	8	市町村が支給を決定した年月日(西暦年月日YYYYMMDDを出力する)	※Y
15	本人支払額	数値	9	本人支払額を出力する	
16	支給判定フラグ	コード値	1	支給区分コードを出力する	1:支給 2:不支給
17	項目名称1	漢字	40	都道府県ごとに国保連合会において設定した内容を出力する	
18	高額障害福祉サービス費支給金額	数値	11	高額障害福祉サービス費支給金額を出力する	
19	不支給理由	漢字	160	不支給の理由を出力する	
20	金融機関コード	コード値	4	受給者の口座の金融機関コードを設定する	※C

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
21	金融機関支店コード	コード値	3	受給者の口座の金融機関支店コードを設定する	※C
22	口座種目	漢字	6	口座払の口座種目を出力する	
23	口座番号	コード値	7	口座払の口座番号を出力する	
24	口座名義人(カナ)	英数	40	口座払の口座名義人(カナ)を出力する	
25	不服申立て先	漢字	8	不服申立て先の都道府県名を出力する	
26	取消訴訟先	漢字	40	障害者の場合、 取消訴訟先の市町村名を出力する 障害児の場合、 取消訴訟先の都道府県名を出力する	
27	問い合わせ先郵便番号	コード値	7	問い合わせ先の郵便番号を出力する	
28	問い合わせ先住所	漢字	128	問い合わせ先の住所(漢字)を出力する	
29	問い合わせ先名称1	漢字	40	問い合わせ先の名称1を出力する	
30	問い合わせ先名称2	漢字	40	問い合わせ先の名称2を出力する	
31	問い合わせ先電話番号	英数	15	問い合わせ先の電話番号を出力する	
32	帳票関連付け番号	コード値	6	高額障害福祉サービス費支給(不支給)決定者 一覧表の No.を出力する	

※1:市町村の場合は、市町村名(漢字)。都道府県の場合は都道府県名(漢字)。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ.市町村事務共同処理 3.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

高額障害福祉サービス費支給(不支給)決定通知書情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)

高額障害福祉サービス費支給(不支給)決定通知書情報(明細レコード)

高額障害福祉サービス費支給(不支給)決定通知書情報(明細レコード)

高額障害福祉サービス費支給(不支給)決定通知書情報(明細レコード)

:

市町村単位で1ファイル(※)

※政令市で受給者証に記載する市町村番号を行政区毎に分けている場合であっても、
政令市単位で1ファイルとする

(3) 高額障害福祉サービス費振込依頼書情報 (FC41)

①ヘッダレコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	帳票レコード種別	英数	2	帳票レコード種別を出力する	'H1'(固定値)
3	宛先 金融機関コード	コード値	4	市町村が契約している金融機関のコードを出力する	※C
4		漢字	30	市町村が契約している金融機関名を出力する	
5		コード値	3	市町村が契約している金融機関の支店コードを出力する	※C
6		漢字	40	市町村が契約している金融機関の支店名を出力する	
7	市町村名	漢字	40	市町村名を出力する	

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 3. 2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

②明細レコード(複数レコード)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B	
2	帳票レコード種別	英数	2	帳票レコード種別を出力する	'D1'(固定値)	
3	口座 情報	金融機関コード	コード値	4	受給者の口座の金融機関コードを出力する	※C
4		金融機関名	漢字	30	受給者の口座の金融機関名を出力する	
5		金融機関支店コード	コード値	3	受給者の口座の金融機関支店コードを出力する	※C
6		金融機関支店名	漢字	40	受給者の口座の金融機関支店名を出力する	
7		口座種目	コード値	1	受給者の口座の口座種目を出力する	※C
8		口座種目名(略語)	英数	1	受給者の口座の口座種目名(略語)を出力する	半角カタカナ 普通 :フ 当座 :ト その他:リ
9		口座番号	コード値	7	受給者の口座の口座番号を出力する	※C
10		口座名義人(カナ)	英数	40	受給者の口座の口座名義人(カナ)を出力する	
11	振込金額	数値	9	受給者の口座への振込金額を出力する		
12	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を出力する	※C	

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 3. 2 インタフェース一覧」参照。

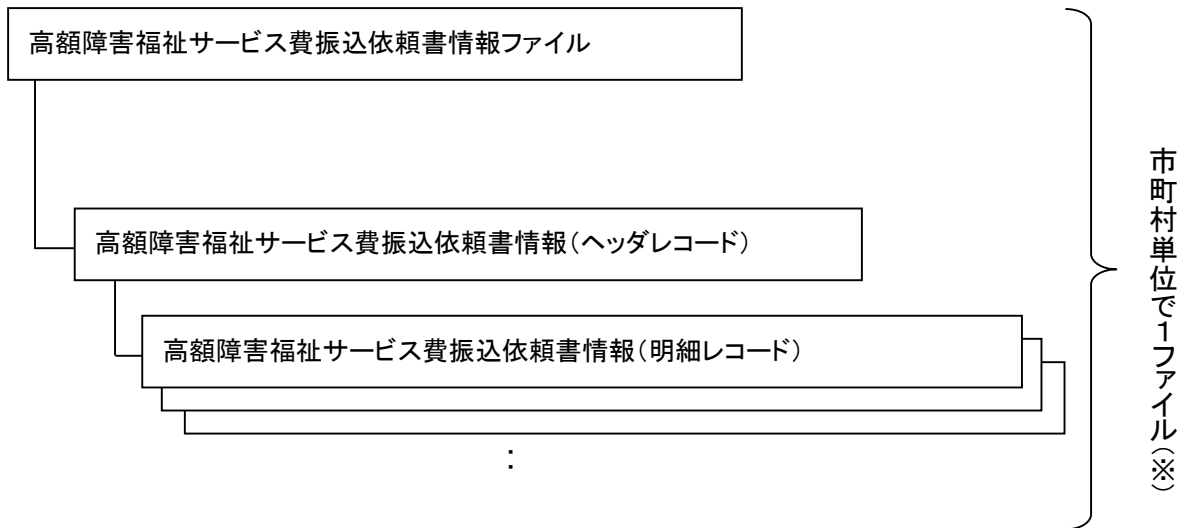
※C:「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

高額障害福祉サービス費振込依頼書情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



※政令市で受給者証に記載する市町村番号を行政区毎に分けている場合であっても、
政令市単位で1ファイルとする

(4) 高額障害福祉サービス費給付対象者一覧表 (FCA1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(5) 高額障害福祉サービス費給付のお知らせ (FCB1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(6) 高額障害福祉サービス費支給申請書 (FCC1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(7) 外字空白印字リスト (高額障害福祉サービス費給付対象者) (FCD1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(8) 高額障害福祉サービス費支給 (不支給) 決定者一覧 (FCE1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(9) 高額障害福祉サービス費支給 (不支給) 決定通知書 (FCF1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(10) 外字空白印字リスト (高額障害福祉サービス費支給 (不支給) 決定者) (FCG1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(11) 高額障害福祉サービス費振込依頼書 (FCH1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

3. 3. 3 高額障害児給付費支給処理情報（入力情報）

（1）高額障害児給付費給付判定結果情報（CC11）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須 入力 (※1)	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	証記載都道府県等 番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号を設定 する	◎	※C	
3	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	◎	※C	
4	サービス提供年月	コード値	6	サービス提供年月(西暦年月(YYYYMM)) を設定する	◎	※Y	
5	受付年月日	コード値	8	市町村が受給者からの申請を受け付けた 年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定 する	◎	※Y	
6	決定年月日	コード値	8	市町村が支給または不支給を決定した年 月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定す る	◎	※Y	
7	本人支払額	数値	6	受給者が支払った金額を設定する	◎		
8	支給区分コード	コード値	1	支給区分コードを設定する	◎	1:支給 2:不支給	
9	支給金額	数値	6	受給者に支給する金額を設定する	○	※2	
10	不支給理由	漢字	160	不支給の場合の理由を設定する	○	※3	
11	口座払	金融機関コード	コード値	4	口座払の金融機関コードを設定する	○	※4 ※C
12		金融機関支店 コード	コード値	3	口座払の金融機関支店コードを設定する		※4 ※C
13		口座種目	コード値	1	口座払の口座種目を設定する		※4 ※C
14		口座番号	コード値	7	口座払の口座番号を設定する		※4 ※C
15		口座名義人(カ ナ)	英数	40	口座払の口座名義人(カナ)を設定する		半角カタカナ
16	再計算依頼区分	コード値	1	国保連合会に再計算を依頼するかどうか の区分コードを設定する	◎	1:依頼なし 2:再計算依頼	

※1: 必須入力(交換情報識別番号毎) ◎: 必須、○: 給付判定により必須、△: 任意設定、空白: 不要

※2: 支給区分コードが“1”の場合、必須。

※3: 支給区分コードが“2”の場合、必須。

※4: 支給区分コードが“1”の場合に設定する。ただし、国保連合会にお知らせ等の出力有りを申し出ている場合(詳細は「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 3. 4(5) 支給申請書の出力有無等の設定について」参照)で、既に高額障害児給付費給付判定結果情報にて口座情報を提出していれば、省略可能。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 3. 2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

高額障害児給付費給付判定結果情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)

高額障害児給付費給付判定結果情報
高額障害児給付費給付判定結果情報
高額障害児給付費給付判定結果情報

:

市町村単位に1ファイル

3. 3. 4 高額障害児給付費支給処理情報（出力情報）

（１）高額障害児給付費給付のお知らせ情報（CG21）

①明細レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	帳票レコード種別	英数	2	帳票レコード種別を出力する	“D1”固定
3	サービス提供年月	コード値	6	サービス提供年月（西暦年月（YYYYMM））を出力する	※Y
4	証記載都道府県等番号	コード値	6	受給者証記載の市町村番号を出力する	※C
5	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を出力する	※C
6	帳票題目	漢字	100	帳票題目を出力する	
7	説明文1	漢字	200	都道府県ごとに国保連合会において設定した内容を出力する	
8	受給者氏名(カナ)	英数	25	受給者氏名(カナ)を出力する	
9	受給者氏名(漢字)	漢字	40	受給者氏名(漢字)を出力する	
10	生年月日	コード値	8	受給者の生年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を出力する	※Y
11	障害福祉サービス費自己負担額	数値	9	障害福祉サービス費自己負担額の世帯合計額を出力する	
12	障害児給付費自己負担額	数値	9	障害児給付費自己負担額の世帯合計額を出力する	
13	介護保険給付費自己負担額	数値	9	介護保険給付費自己負担額の世帯合計額を出力する	
14	補装具費自己負担額	数値	9	補装具費自己負担額の世帯合計額を出力する	
15	項目名称1	漢字	40	都道府県ごとに国保連合会において設定した内容を出力する	
16	高額障害児給付費支給金額	数値	9	高額障害児通所給付費支給金額を出力する	
17	説明文2	漢字	200	都道府県ごとに国保連合会において設定した内容を出力する	
18	提出・問い合わせ先郵便番号	コード値	7	提出・問い合わせ先の郵便番号を出力する	
19	提出・問い合わせ先住所	漢字	128	提出・問い合わせ先の住所(漢字)を出力する	
20	提出・問い合わせ先名称1	漢字	40	提出・問い合わせ先の名称1を出力する	

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
21	帳票関連付け番号	コード値	6	高額障害児給付費給付対象者一覧表のNo.を出力する	
22	提出・問い合わせ先名称2	漢字	40	提出・問い合わせ先の名称2を出力する	
23	提出・問い合わせ先 電話番号	英数	15	提出・問い合わせ先の電話番号を出力する	
24	宛先郵便番号	コード値	7	受給者の郵便番号を出力する	
25	宛先住所	漢字	128	受給者の住所を出力する	
26	宛先氏名	漢字	40	受給者の氏名(漢字)を出力する	
27	宛先敬称	漢字	2	‘様’を出力する	

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 3. 2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

高額障害児給付費給付のお知らせ情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)

高額障害児給付費給付のお知らせ情報(明細レコード)

高額障害児給付費給付のお知らせ情報(明細レコード)

高額障害児給付費給付のお知らせ情報(明細レコード)

:

市町村単位で1ファイル

(2) 高額障害児給付費支給（不支給）決定通知書情報（CC31）

①明細レコード(複数レコード)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	帳票レコード種別	英数	2	帳票レコード種別を出力する	“D1”固定
3	サービス提供年月	コード値	6	サービス提供年月(西暦年月(YYYYMM)) を出力する	※Y
4	証記載都道府県等番号	コード値	6	受給者証記載の市町村番号を出力する	※C
5	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を出力する	※C
6	帳票題目	漢字	100	帳票題目を出力する	
7	送付先名	漢字	40	送付先名を出力する	※1
8	説明文1	漢字	200	都道府県ごとに国保連合会において設定 した内容を出力する	
9	受給者氏名(カナ)	英数	25	受給者氏名(カナ)を出力する	
10	受給者氏名(漢字)	漢字	40	受給者氏名(漢字)を出力する	
11	児童氏名(カナ)	英数	25	児童氏名(カナ)を出力する	
12	児童氏名(漢字)	漢字	40	児童氏名(漢字)を出力する	
13	受付年月日	コード値	8	受付年月日(西暦年月日(YYYYMMDD)) を出力する	※Y
14	決定年月日	コード値	8	市町村が支給を決定した年月日(西暦年 月日 YYYYMMDD を設定する)	※Y
15	本人支払額	数値	9	本人支払額を出力する	
16	支給判定フラグ	コード値	1	支給判定フラグ値を出力する	1:支給 2:不支給
17	項目名称1	漢字	40	都道府県ごとに国保連合会において設定 した内容を出力する	
18	高額障害児給付費支給金額	数値	11	高額障害児通所給付費支給金額を出力 する	
19	不支給理由	漢字	160	不支給の理由を出力する	
20	金融機関コード	コード値	4	受給者の口座の金融機関コードを出力す る	※C
21	金融機関支店コード	コード値	3	受給者の口座の金融機関支店コードを出力 する	※C

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
22	口座種目	漢字	6	口座払の口座種目を出力する	
23	口座番号	コード値	7	口座払の口座番号を出力する	
24	口座名義人(カナ)	英数	40	口座払の口座名義人(カナ)を出力する	
25	不服申立て先	漢字	8	不服申立て先の都道府県名を出力する	
26	取消訴訟先	漢字	40	障害者の場合、取消訴訟先の市町村名を出力する 障害児の場合、取消訴訟先の都道府県名を出力する	
27	問い合わせ先郵便番号	コード値	7	問い合わせ先の郵便番号を出力する	
28	問い合わせ先住所	漢字	128	問い合わせ先の住所(漢字)を出力する	
29	問い合わせ先名称1	漢字	40	問い合わせ先の名称1を出力する	
30	問い合わせ先名称2	漢字	40	問い合わせ先の名称2を出力する	
31	問い合わせ先電話番号	英数	15	問い合わせ先の電話番号を出力する	
32	帳票関連付け番号	コード値	6	高額障害児給付費支給(不支給)決定者一覧表の No.を出力する	

※1:市町村の場合は、市町村名(漢字)。都道府県の場合は都道府県名(漢字)。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 3. 2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

高額障害児給付費支給(不支給)決定通知書情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)

高額障害児給付費支給(不支給)決定通知書情報(明細レコード)

高額障害児給付費支給(不支給)決定通知書情報(明細レコード)

高額障害児給付費支給(不支給)決定通知書情報(明細レコード)

:

市町村単位に1ファイル

(3) 高額障害児給付費振込依頼書情報 (CC41)

①ヘッダレコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	帳票レコード種別	英数	2	帳票レコード種別を出力する	'H1'(固定値)
3	金融機関コード	コード値	4	市町村が契約している金融機関のコードを出力する	※C
4	金融機関名	漢字	30	市町村が契約している金融機関名を出力する	
5	金融機関支店コード	コード値	3	市町村が契約している金融機関の支店コードを出力する	※C
6	金融機関支店名	漢字	40	市町村が契約している金融機関の支店名を出力する	
7	都道府県等名	漢字	40	市町村名を出力する	

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 3. 2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

②明細レコード(複数レコード)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B	
2	帳票レコード種別	英数	2	帳票レコード種別を出力する	'D1'(固定値)	
3	口座情報	金融機関コード	コード値	4	受給者の口座の金融機関コードを出力する	※C
4		金融機関名	漢字	30	受給者の口座の金融機関名を出力する	
5		金融機関支店コード	コード値	3	受給者の口座の金融機関支店コードを出力する	※C
6		金融機関支店名	漢字	40	受給者の口座の金融機関支店名を出力する	
7		口座種目	コード値	1	受給者の口座の口座種目を出力する	※C
8		口座種目名(略語)	英数	1	受給者の口座の口座種目名(略語)を出力する	半角カタカナ 普通 :フ 当座 :ト その他:リ
9		口座番号	コード値	7	受給者の口座の口座番号を出力する	※C
10	口座名義人(カナ)	英数	40	受給者の口座の口座名義人(カナ)を出力する		
11	振込金額	数値	9	受給者の口座への振込金額を出力する		
12	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を出力する	※C	

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 3. 2 インタフェース一覧」参照。

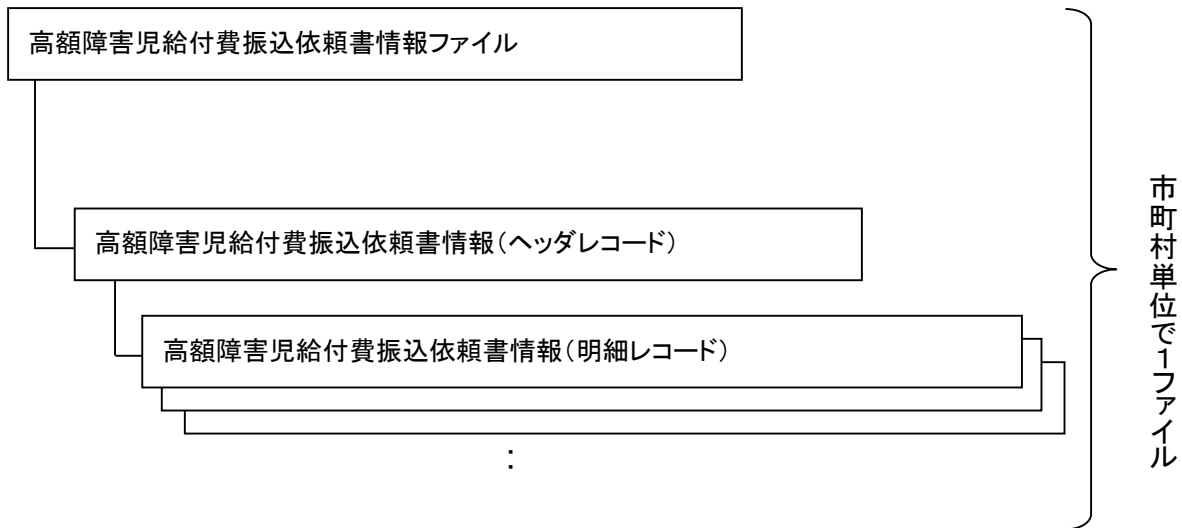
※C:「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

高額障害児給付費振込依頼書情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



3. 3. 5 取込エラーリスト

(1) 高額障害福祉サービス費給付判定結果情報取込エラーリスト (FDA1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(2) 高額障害児給付費給付判定結果情報取込エラーリスト (CGA1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

3. 3. 6 受付点検エラーリスト

(1) 高額障害福祉サービス費給付判定結果情報受付点検エラーリスト (FEA1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(2) 高額障害児給付費給付判定結果情報受付点検エラーリスト (CHA1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

3. 3. 7 給付判定結果エラーリスト

(1) 高額障害福祉サービス費給付判定結果エラーリスト (FFA1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(2) 高額障害児給付費給付判定結果エラーリスト (CIA1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

3. 4 高額計算の委託等の考え方

(1) 国保連合会に高額計算を委託する場合に必要な委託業務

「高額障害福祉サービス費支給処理」を国保連合会に委託し、正しい高額計算を行うためには、市町村と都道府県が以下業務を国保連合会に委託する必要がある。

① 高額計算に必要な委託業務

No	委託業務	市町村が委託する業務	都道府県が委託する業務	備考
1	障害福祉サービス費支払処理	◎		障害福祉サービスの給付実績を高額計算に使用するために必要。
2	障害福祉サービス費 (基準該当サービス)支払処理	◎		障害福祉サービス(基準該当サービス)の給付実績を高額計算に使用するために必要。
3	高額障害福祉サービス費支給処理	◎		高額計算を委託するために必要。
4	障害児給付費支払処理	◎	◎	障害児通所給付の給付実績を高額計算に使用するために必要。
5	障害児給付費 (基準該当サービス)支払処理	◎		障害児給付(基準該当サービス)の給付実績を高額計算に使用するために必要。
6	高額障害児給付費支給処理	◎	◎	高額計算を委託するために必要。
7	各種支払支援処理	○	○	各種支払支援処理を委託するために必要。

凡例：◎…正しい高額計算を行うために必須、○…各種支払支援処理を委託する場合に必要

(2) 高額計算を行うために国保連合会に提出する交換情報

① 高額計算に必要な交換情報

No	情報名	市町村が提出する情報	都道府県が提出する情報	備考
1	受給者異動連絡票情報	◎		高額計算で個人の利用者負担上限月額等を使用するため必要。
2	市町村異動連絡票情報	◎		業務委託する場合に必要。
3	高額障害福祉サービス費 世帯等異動連絡票情報	◎		高額計算で世帯集約番号等を使用するため必要。
4	高額障害福祉サービス費 市町村異動連絡票情報	◎		高額のお知らせ情報等に出力する問合せ先等に使用するため必要。
5	高額障害福祉サービス費 給付判定結果情報	◎		給付判定結果に基づき高額障害福祉サービス費支給処理を行うために必要。
6	障害福祉サービス費 市町村保有給付実績情報	○		特例介護給付・訓練等給付費、補装具費を市町村が支払処理を行った場合にその情報も高額計算に使用するために必要。
7	障害児支援受給者 異動連絡票情報	◎	◎	高額計算で個人の利用者負担上限月額を使用するため必要。
8	都道府県等異動連絡票情報	◎	◎	業務委託する場合に必要。
9	高額障害児給付費 世帯等異動連絡票情報	◎	◎	高額計算で世帯集約番号等を使用するため必要。
10	高額障害児給付費 都道府県等異動連絡票情報	◎	◎	高額のお知らせ情報等を出力するために必要。
11	高額障害児給付費 給付判定結果情報	◎	◎	給付判定結果に基づき高額障害児給付費支給処理を行うために必要。
12	障害児給付費 都道府県等保有給付実績情報	○		特例障害児通所給付費を市町村が支払処理を行った場合にその情報も高額計算に使用するために必要。

凡例：◎…高額計算を行うために必須、○…事象が発生した場合に必要

(3)高額計算の考え方

①(1)(2)で記載した内容が国保連合会に揃っている場合に正しい高額計算を行うことができる。

(市町村において介護保険の高額介護サービス費支給処理を委託していない場合(給付実績交換処理で高額介護サービス費を国保連合会に提出している場合は除く)は、高額介護サービス費支給額を考慮しない値で高額計算を行うこととなる)

②(1)(2)で記載した内容が国保連合会に揃っていない場合は、国保連合会にある情報にて高額計算を行うこととなる。(正しい高額計算結果ではない)

(4)都道府県等が高額計算に必要な業務を委託していない場合について

都道府県等が高額計算に必要な業務を委託していない場合は、都道府県等の代わりに以下「高額計算に必要な交換情報」を国保連合会に提出し、高額計算を行うことができる。

①都道府県等の代わりに国保連合会に提出する交換情報

No	情報名	市町村が代理で提出できる情報 (※1)	都道府県等が提出する必要がある情報	備考
1	障害児支援受給者異動連絡票情報	○ (※2)		市町村は、都道府県等より受給者の情報を入手して障害児支援受給者異動連絡票情報を作成し、代理で提出する。
2	都道府県等異動連絡票情報		○ (※3)	都道府県等が提出する必要がある。
3	高額障害児給付費世帯等異動連絡票情報	○		市町村は、都道府県等より世帯等の情報を入手して高額障害児給付費世帯等異動連絡票情報を作成し、代理で提出する。
4	高額障害児給付費都道府県等異動連絡票情報		○ (※3)	都道府県等が提出する必要がある。
5	高額障害児給付費給付判定結果情報	○		市町村は、都道府県等より給付判定結果の情報を入手して高額障害児給付費給付判定結果情報を作成し、代理で提出する。(国保連合会に障害児通所給付費の給付実績が存在しない場合は、本情報の本人支払額を利用者負担額として高額計算に使用する)

※1:市町村が代理で提出する場合は、コントロールレコードの「市町村番号」に送付元の市町村番号を設定し、データレコードの「証記載都道府県等番号」には、受給者証に記載されている都道府県等番号を設定する。

※2:都道府県等が、障害児給付費支払処理の委託を行っていない場合に提出する必要がある。

※3:都道府県等の代わりに国保連合会に上記情報を提出する場合でも、本情報は都道府県等にデータを作成してもらい、国保連合会に提出してもらう必要がある。

(5)支給申請書の出力有無等の設定について

お知らせ等を国保連合会より出力するには、お知らせ等の出力有無を国保連合会に申し出る必要がある。受給者ごとに支給申請書の出力有無を設定した場合の出力内容は以下の通り。

支給申請書出力の有無	国保連合会へ申し出内容(お知らせ等の出力有無)	
	出力無し	出力有り
1:出力無し	お知らせ等は全て出力しない	支給申請書以外のお知らせ等を出力する
2:一覧のみ	給付対象者一覧表のみ出力する	給付対象者一覧表のみ出力する
3:出力有り	お知らせ等は全て出力する	お知らせ等は全て出力する

上記「お知らせ等」は以下帳票を示す。

- ・高額障害福祉サービス費給付対象者一覧表、高額障害児給付費給付対象者一覧表
- ・高額障害福祉サービス費給付のお知らせ(情報)、高額障害児給付費給付のお知らせ(情報)
- ・高額障害福祉サービス費支給申請書、高額障害児給付費支給申請書
- ・外字空白印字リスト(高額障害福祉サービス費給付対象者)、外字空白印字リスト(高額障害児給付費給付対象者)

なお、過誤等により再度高額計算を実施し、既に支給された金額より低くなり今回の支給額がマイナスとなる場合は、国保連合会にマイナス支給額の出力有無を申し出ることができる。その場合の出力内容は以下の通り。

＜支給申請書等への出力内容＞

出力帳票等	国保連合会への申し出内容	
	マイナス支給額を出力しない	マイナス支給額を出力する
高額障害福祉サービス費給付のお知らせ情報 高額障害児給付費給付のお知らせ情報	×	○
高額障害福祉サービス費給付対象者一覧表 高額障害児給付費給付対象者一覧表	×	○
高額障害福祉サービス費給付のお知らせ 高額障害児給付費給付のお知らせ	×	○
高額障害福祉サービス費支給申請書 高額障害児給付費支給申請書	×	×
外字空白印字リスト(高額障害福祉サービス費給付対象者) 外字空白印字リスト(高額障害児給付費給付対象者)	×	○

凡例：○・・・支給申請書出力の有無が「1:出力無し」以外の場合は出力対象、×・・・出力対象外

＜支給(不支給)決定通知書等への出力内容＞

出力帳票等	国保連合会への申し出内容	
	マイナス支給額を出力しない	マイナス支給額を出力する
高額障害福祉サービス費支給(不支給)決定通知書情報 高額障害児給付費支給(不支給)決定通知書情報	×	○ (※1)
高額障害福祉サービス費振込依頼書情報 高額障害児給付費振込依頼書情報	×	×
高額障害福祉サービス費支給(不支給)決定者一覧表 高額障害児給付費支給(不支給)決定者一覧表	×	○ (※1)
高額障害福祉サービス費支給(不支給)決定通知書 高額障害児給付費支給(不支給)決定通知書	×	○ (※1)
外字空白印字リスト(高額障害福祉サービス費支給(不支給)決定者) 外字空白印字リスト(高額障害児給付費支給(不支給)決定者)	×	○ (※1)
高額障害福祉サービス費振込依頼書 高額障害児給付費振込依頼書	×	×
振込データ情報(高額障害福祉サービス費) 振込データ情報(高額障害児給付費)	×	×
障害福祉サービス費等払込請求書 障害児給付費等払込請求書	×	×
振込者一覧表(高額障害福祉サービス費) 振込者一覧表(高額障害児給付費)	×	×

凡例：○・・・出力対象、×・・・出力対象外 ※1:振込先は印字しない。

(6) 支給申請書等・支給(不支給)決定通知書等の提供について

世帯員に障害福祉サービスと障害児入所給付を受給している者がいる場合、高額を支給申請書等・支給(不支給)決定通知書等は、市町村にまとめて提供する(この世帯の場合、市町村で高額障害福祉サービス費と高額障害児入所給付費の申請受付を行うため)。

なお、障害児入所給付のみを受給している世帯は、都道府県等に提供する。

4 各種支払支援処理業務

4. 1 受け渡し概要図

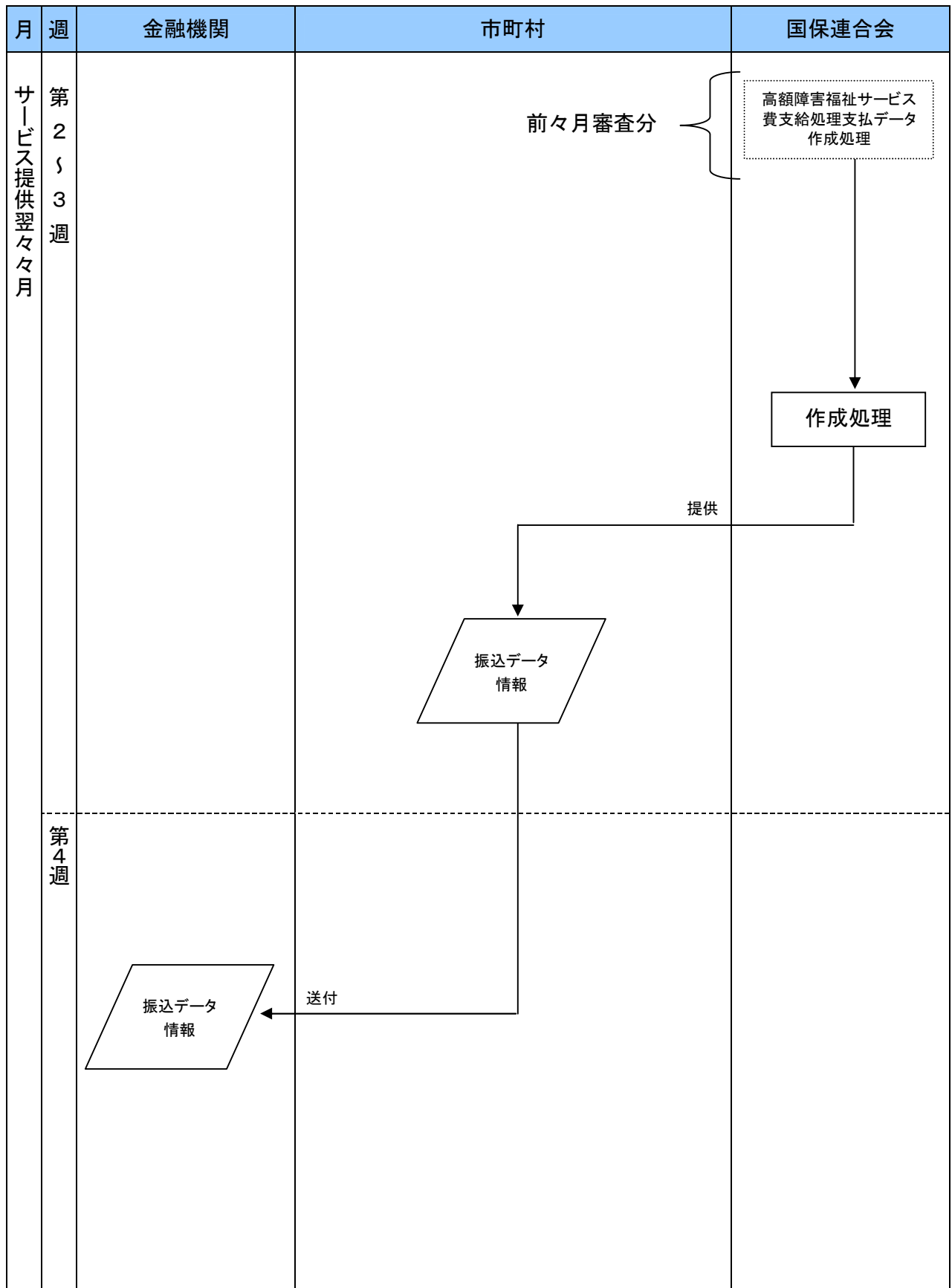
4. 1. 1 各種支払支援処理情報受け渡し概要

(1) 国保連合会が振込データ情報作成までを行う場合

市町村	国保連合会
2. 市町村は、振込データ情報を金融機関に送付する。	1. 国保連合会は、高額障害福祉サービス費・高額障害児給付費支給処理で作成された支払データから、振込データ情報を作成して、市町村に提供する。
備考	

各種支払支援処理情報受け渡し概要図

(1) 国保連合会が振込データ情報作成までを行う場合



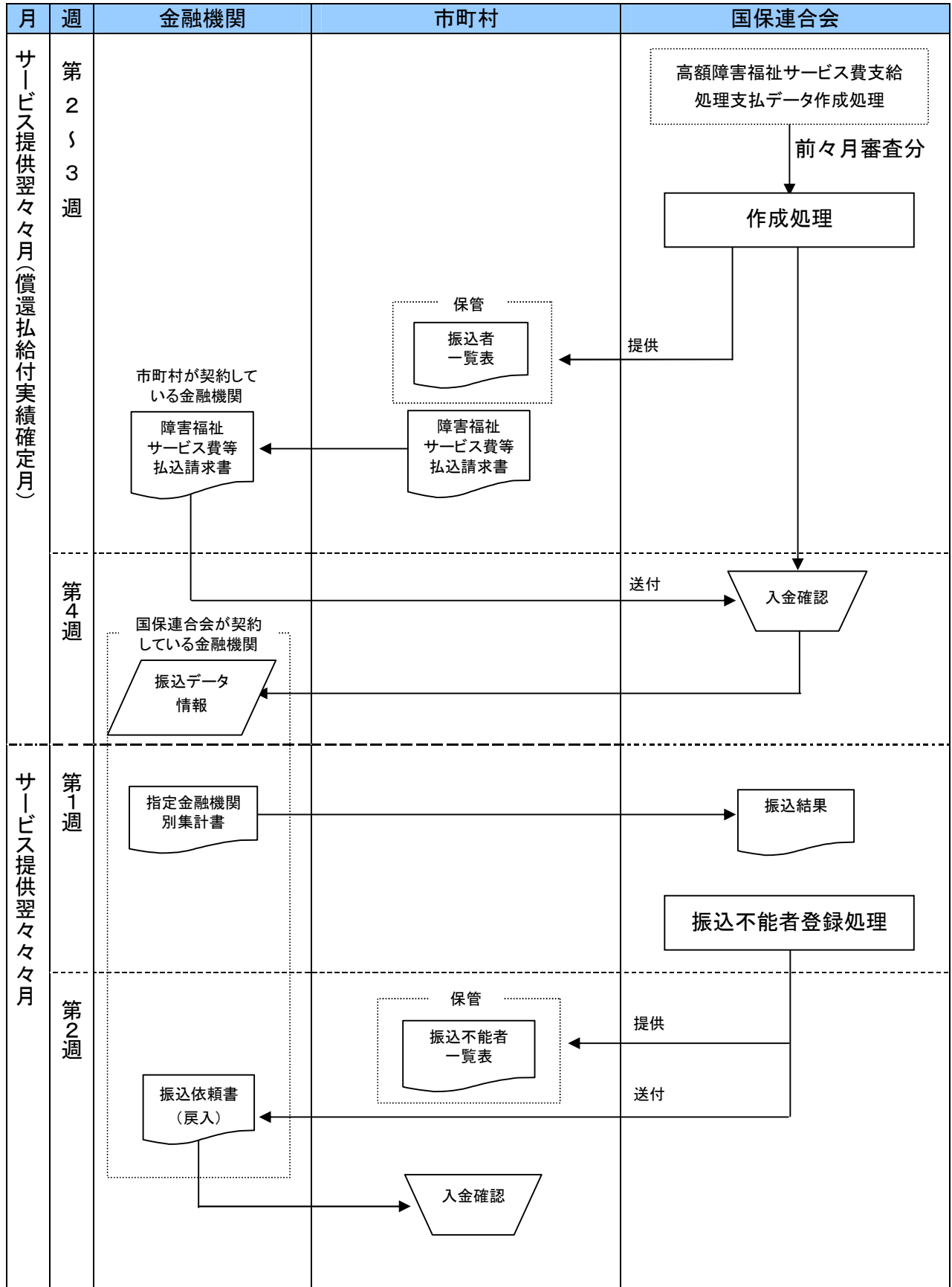
各種支払支援処理情報受け渡し概要

(2) 国保連合会が受給者への振込までを行う場合(支払不能時の対応なし)

市町村	国保連合会
<p>3. 市町村は、振込者一覧表を保管する。</p> <p>4. 市町村は、障害福祉サービス費等払込請求書を利用し、国保連合会への振込を行う。</p> <p>7. 市町村は、振込不能者一覧表を保管する。</p> <p>9. 市町村は、振込不能者分の金額の入金確認を行う。</p>	<p>1. 国保連合会は、高額障害福祉サービス費支給処理で作成された支払データから、振込データ情報、指定金融機関別集計書、振込者一覧表(PDF)、障害福祉サービス費等払込請求書(帳票)を作成する。</p> <p>2. 国保連合会は、振込者一覧表、障害福祉サービス費等払込請求書を市町村に提供する。</p> <p>5. 国保連合会は、入金を確認して、振込データ情報、指定金融機関別集計書を金融機関に提供し、金融機関から振込結果を受け取り、振込不能者の登録を行う。</p> <p>6. 国保連合会は、振込不能者一覧表、振込依頼書(戻入)を作成し、振込不能者一覧表を市町村に提供する。</p> <p>8. 国保連合会は、振込依頼書(戻入)を金融機関に送付して、市町村へ振込不能者分の金額の戻入を行う。</p>
備考	

各種支払支援処理情報受け渡し概要図

(2) 国保連合会が受給者への振込までを行う場合(支払不能時の対応なし)



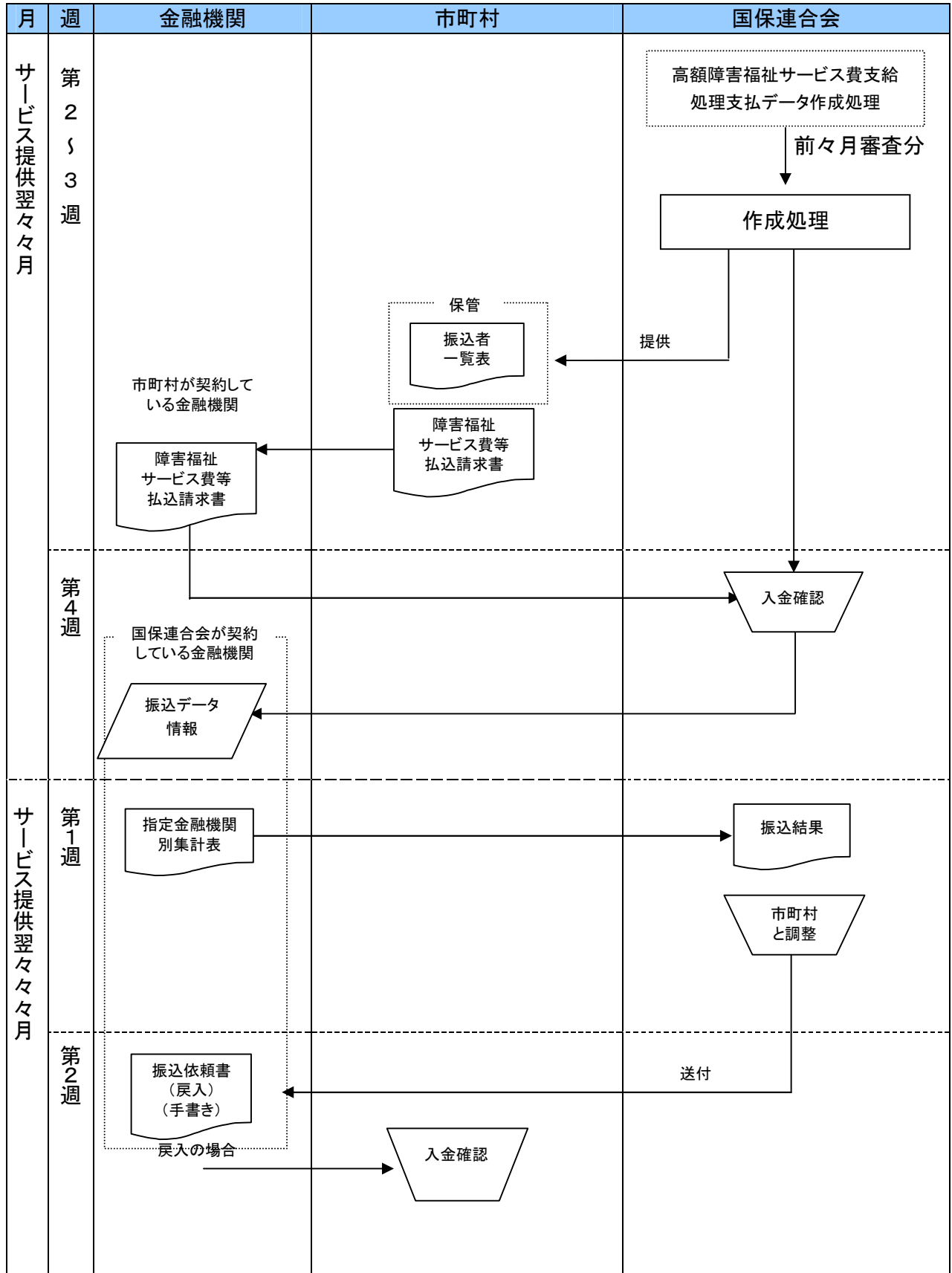
各種支払支援処理情報受け渡し概要

(3) 国保連合会が受給者への振込までを行う場合(支払不能時の対応あり)

市町村	国保連合会
<p>3. 市町村は、振込者一覧表を保管する。</p> <p>4. 市町村は、障害福祉サービス費等払込請求書を利用し、国保連合会への振込を行う。</p> <p>9. 振込不能者分の金額の入金確認を行う。</p>	<p>1. 国保連合会は、高額障害福祉サービス費支給処理で作成された支払データから、振込データ情報、指定金融機関別集計書、振込者一覧表(PDF)、障害福祉サービス費等払込請求書(帳票)を作成する。</p> <p>2. 国保連合会は、振込者一覧表、障害福祉サービス費等払込請求書を市町村に提供する。</p> <p>5. 入金を確認して、振込データ情報、指定金融機関別集計書を金融機関に送付する。</p> <p>6. 金融機関から振込結果を受け取る。</p> <p>7. 市町村との調整を行う。</p> <p>8. 振込不能者への再振込または振込不能者分の金額の市町村への戻入を行うために、振込依頼書(戻入)を作成して、金融機関に送付する。</p>
<p>備考</p>	

各種支払支援処理情報受け渡し概要図

(3) 国保連合会が受給者への振込までを行う場合(支払不能時の対応あり)



4. 2 インタフェース一覧

4. 2. 1 各種支払支援処理情報（高額障害福祉サービス費）（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	FJ11	振込データ情報 (※1)	金融機関へ提出する振込情報(各種支払支援処理を委託している場合に、市町村単位の振込データ情報作成までを行う)	国保連合会 → 市町村	月次	伝送
(2)	FJA1	障害福祉サービス費等 払込請求書 (※2)	市町村が国保連合会に払い込みをする金額等の払込請求書	国保連合会 → 市町村	月次	帳票
(3)	FJB1	振込者一覧表	支払支援処理の対象となった振込先の一覧	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(4)	FJC1	振込不能者一覧表	支払支援処理の対象であるが、振込が正常に終了しなかった振込先の一覧	国保連合会 → 市町村	随時	PDF

※1 振込データ情報は全銀協フォーマットのため、以下の仕様となる。

- ・コントロールレコードは付加されない
- ・固定長レコードとなる

※2 市町村からの申し出により請求情報の合算を行う場合、合併後の市町村に合併前の市町村分を合算する。

4. 2. 2 各種支払支援処理情報（高額障害児給付費）（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	CD11	振込データ情報 (※1)	金融機関へ提出する振込情報(各種支払支援処理を委託している場合に、市町村単位の振込データ情報作成までを行う)	国保連合会 → 市町村	月次	伝送
(2)	CDA1	障害児給付費等払込 請求書 (※2)	市町村が国保連合会に払い込みをする金額等の払込請求書	国保連合会 → 市町村	月次	帳票
(3)	CDB1	振込者一覧表	支払支援処理の対象となった振込先の一覧	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(4)	CDC1	振込不能者一覧表	支払支援処理の対象であるが、振込が正常に終了しなかった振込先の一覧	国保連合会 → 市町村	随時	PDF

※1 振込データ情報は全銀協フォーマットのため、以下の仕様となる。

- ・コントロールレコードは付加されない
- ・固定長レコードとなる

※2 市町村からの申し出により請求情報の合算を行う場合、合併後の市町村に合併前の市町村分を合算する。

4. 3 項目説明

4. 3. 1 各種支払支援処理情報（高額障害福祉サービス費）（出力情報）

(1) 振込データ情報（FJ11）

① ヘッダレコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	データ区分	コード値	1	1……ヘッダレコード	
2	種別コード	コード値	2	21……総合振込	
3	コード区分	コード値	1	0……JIS	
4	振込依頼人コード	コード値	10	銀行が採番した振込依頼人識別のためのコード	
5	振込依頼人名	英数	40	カナ文字および英数字	
6	取組日	コード値	4	取組日(MMDD) 銀行営業日	
7	仕向銀行番号	コード値	4	取引銀行番号(統一金融機関番号)	
8	仕向銀行名	英数	15	取引銀行名(カナ文字および英数字)	任意 省略時はスペース
9	仕向支店番号	コード値	3	取引支店番号(統一店番号)	
10	仕向支店名	英数	15	取引支店名(カナ文字および英数字)	任意 省略時はスペース
11	預金種目(依頼人)	コード値	1	1……普通預金 2……当座預金 9……その他	任意 省略時はスペース
12	口座番号(依頼人)	コード値	7	振込依頼人の口座番号	任意 省略時はスペース
13	ダミー	英数	17	スペース	

② データレコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	データ区分	コード値	1	2……データレコード	
2	被仕向銀行番号	コード値	4	振込先銀行番号（統一金融機関番号）	
3	被仕向銀行名	英数	15	振込先銀行名（カナ文字および英数字）	任意 省略時は スペース
4	被仕向支店番号	コード値	3	振込先支店番号（統一店番号）	
5	被仕向支店名	英数	15	振込先支店名（カナ文字および英数字）	任意 省略時は スペース
6	手形交換所番号	コード値	4	数字	任意 省略時は スペース
7	預金種目	コード値	1	1……普通預金 2……当座預金 9……その他	
8	口座番号	コード値	7	受取人の口座番号	
9	受取人名	英数	30	カナ文字および英数字	
10	振込金額	数値	10	数字	
11	新規コード	コード値	1	1……第1回振込分 2……変更分（被仕向銀行・支店、預金種目・口座番号） 0……その他	
12	顧客コード1	コード値	10	依頼人が定めた受取人識別のためのコード	任意 省略時は スペース
13	顧客コード2	コード値	10		
14	振込指定区分	コード値	1	7……テレ振込 8……文書振込	任意 省略時は スペース
15	識別表示	英数	1	「Y」またはスペース	
16	ダミー	英数	7	スペース	

③ トレーラレコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	データ区分	コード値	1	8……トレーラレコード	
2	合計件数	数値	6	データレコードの合計件数	
3	合計金額	数値	12	データレコードの合計金額	
4	ダミー	英数	101	スペース	

④ エンドレコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	データ区分	コード値	1	9……エンドレコード	
2	ダミー	英数	119	スペース	

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

(2) 障害福祉サービス費等払込請求書 (FJA1) (帳票)

帳票出力情報であるため、項目を記載していません

(3) 振込者一覧表 (FJB1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(4) 振込不能者一覧表 (FJC1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

4. 3. 2 各種支払支援処理情報（高額障害児給付費）（出力情報）

(1) 振込データ情報 (CD11)

① ヘッダレコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	データ区分	コード値	1	1……ヘッダレコード	
2	種別コード	コード値	2	21……総合振込	
3	コード区分	コード値	1	0……JIS	
4	振込依頼人コード	コード値	10	銀行が採番した振込依頼人識別のためのコード	
5	振込依頼人名	英数	40	カナ文字および英数字	
6	取組日	コード値	4	取組日 (MMDD) 銀行営業日	
7	仕向銀行番号	コード値	4	取引銀行番号(統一金融機関番号)	
8	仕向銀行名	英数	15	取引銀行名(カナ文字および英数字)	任意 省略時はスペース
9	仕向支店番号	コード値	3	取引支店番号(統一店番号)	
10	仕向支店名	英数	15	取引支店名(カナ文字および英数字)	任意 省略時はスペース
11	預金種目(依頼人)	コード値	1	1……普通預金 2……当座預金 9……その他	任意 省略時はスペース
12	口座番号(依頼人)	コード値	7	振込依頼人の口座番号	任意 省略時はスペース
13	ダミー	英数	17	スペース	

② データレコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	データ区分	コード値	1	2……データレコード	
2	被仕向銀行番号	コード値	4	振込先銀行番号（統一金融機関番号）	
3	被仕向銀行名	英数	15	振込先銀行名（カナ文字および英数字）	任意 省略時は スペース
4	被仕向支店番号	コード値	3	振込先支店番号（統一店番号）	
5	被仕向支店名	英数	15	振込先支店名（カナ文字および英数字）	任意 省略時は スペース
6	手形交換所番号	コード値	4	数字	任意 省略時は スペース
7	預金種目	コード値	1	1……普通預金 2……当座預金 9……その他	
8	口座番号	コード値	7	受取人の口座番号	
9	受取人名	英数	30	カナ文字および英数字	
10	振込金額	数値	10	数字	
11	新規コード	コード値	1	1……第1回振込分 2……変更分（被仕向銀行・支店、預金種目・口座番号） 0……その他	
12	顧客コード1	コード値	10	依頼人が定めた受取人識別のためのコード	任意 省略時は スペース
13	顧客コード2	コード値	10		
14	振込指定区分	コード値	1	7……テレ振込 8……文書振込	任意 省略時は スペース
15	識別表示	英数	1	「Y」またはスペース	
16	ダミー	英数	7	スペース	

③ トレーラレコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	データ区分	コード値	1	8……トレーラレコード	
2	合計件数	数値	6	データレコードの合計件数	
3	合計金額	数値	12	データレコードの合計金額	
4	ダミー	英数	101	スペース	

④ エンドレコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	データ区分	コード値	1	9……エンドレコード	
2	ダミー	英数	119	スペース	

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

(2) 障害児給付費等払込請求書 (CDA1) (帳票)

帳票出力情報であるため、項目を記載していません

(3) 振込者一覧表 (CDB1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(4) 振込不能者一覧表 (CDC1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

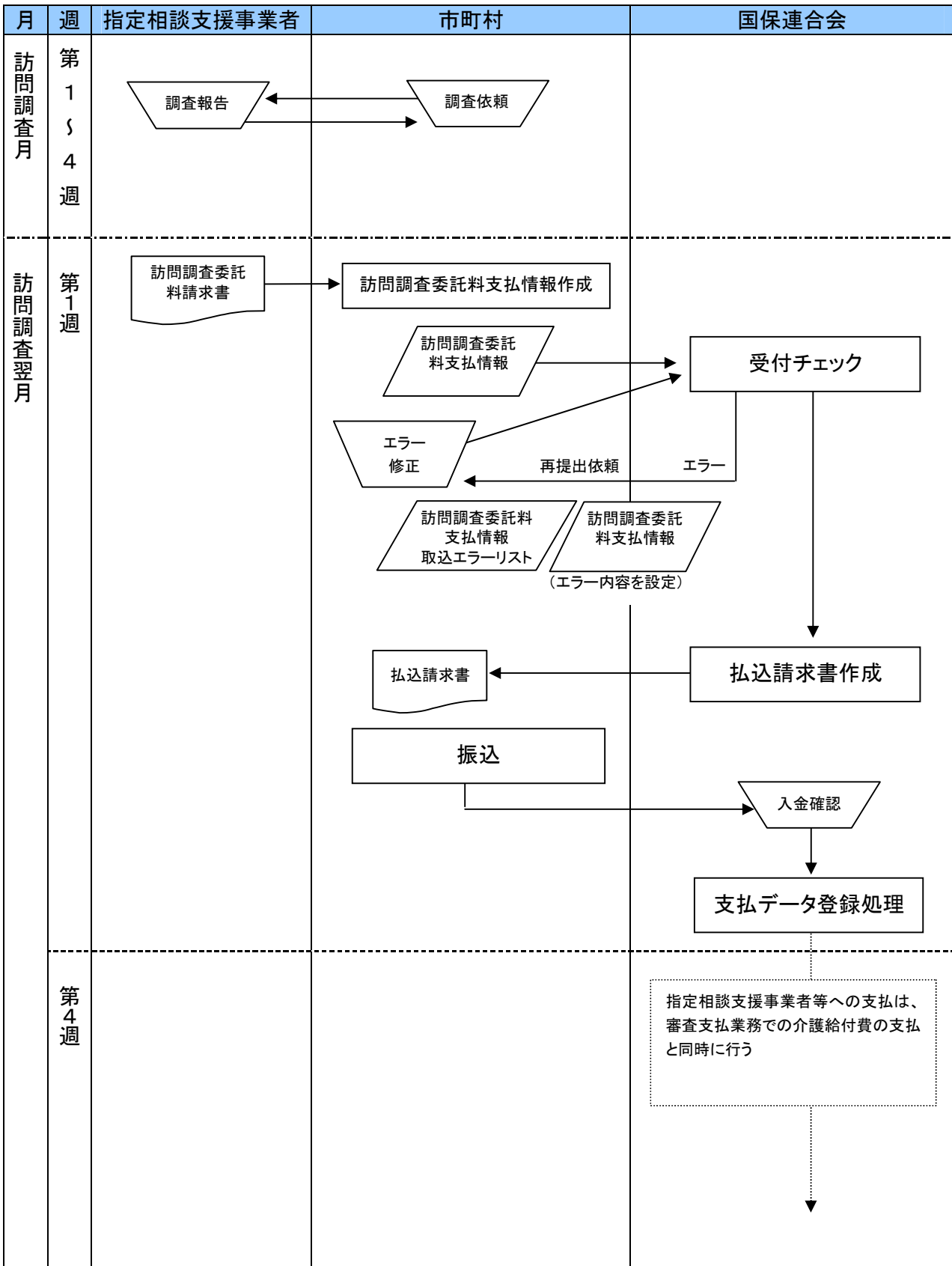
5 訪問調査委託料支払処理業務

5. 1 受け渡し概要図

5. 1. 1 訪問調査委託料支払処理情報受け渡し概要

市町村	国保連合会
<ol style="list-style-type: none"> 1. 市町村は、訪問調査を指定相談支援事業者等に依頼し、訪問調査報告を指定相談支援事業者から受理する。 2. 市町村は、訪問調査委託料請求書を指定相談支援事業者から受理する。 3. 市町村は、訪問調査委託料支払情報を作成し、国保連合会に提出する。 6. 市町村は、障害福祉サービス費等払込請求書を利用して、国保連合会に振込みを行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 4. 国保連合会は、訪問調査委託料支払情報を受付け、受付チェックを行う。エラーがあれば取込エラーリストとエラー内容を設定した訪問調査委託料支払情報を提供し、再提出を依頼する。 5. 国保連合会は、訪問調査委託料支払情報を基に障害福祉サービス費等払込請求書を作成し、市町村に提供する。 7. 国保連合会は、訪問調査委託料の入金確認を行い、支払データを登録する。
備考	

訪問調査委託料支払処理情報受け渡し概要図



5. 2 インタフェース一覧

5. 2. 1 訪問調査委託料支払情報（入力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	FK11	訪問調査委託料支払情報	市町村が決定した訪問調査委託料の支払情報	市町村 ⇄ 国保連合会	月次	伝送

5. 2. 2 取込エラーリスト（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	FLA1	訪問調査委託料支払情報取込エラーリスト	訪問調査委託料支払情報取込時のエラーリスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF

5. 3 項目説明

5. 3. 1 訪問調査委託料支払情報（FK11）（入力情報）

① 基本情報レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト数	内容	必須入力 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	レコード種別コード	コード値	1	レコード種別コードを設定する	◎	1(固定値)
3	証記載市町村番号	コード値	6	受給者証記載の市町村番号を設定する	◎	※C
4	市町村名	漢字	40	受給者証記載の市町村番号に対応する市町村名を設定する	◎	
5	作成年月日	コード値	8	情報を作成した年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y

※1: 必須入力 ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要

※B: インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 3. 2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

② 明細レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	レコード種別コード	コード値	1	レコード種別コードを設定する	◎	2(固定値)
3	事業所番号	コード値	10	事業所番号を設定する	◎	※C
4	事業所名(漢字)	漢字	40	事業所名(漢字)を設定する	◎	
5	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	◎	※C ※2
6	調査依頼年月日	コード値	8	訪問調査の依頼年月日(西暦年月日 (YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y
7	調査実施年月日	コード値	8	訪問調査の実施年月日(西暦年月日 (YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y
8	調査票受領年月日	コード値	8	訪問調査票の受領年月日(西暦年月日 (YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y
9	請求額	数値	8	請求額を設定する	◎	
10	消費税額	数値	8	請求額の消費税額を設定する	◎	
11	支払額	数値	8	支払額を設定する	◎	
12	消費税額	数値	8	支払額の消費税額を設定する	◎	
13	備考	漢字	40	請求額修正理由等を設定する	○	
14	受付エラー内容	漢字	40	国保連合会の受付点検エラーとなった場合、本項目にエラー内容を設定する		※3

※1: 必須入力 ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要

※2: 受給者証番号が設定できない場合(支給決定されていない)は任意の番号(一次判定ソフトで使用している「申請番号」等)を設定すること。受給者証番号と重複しないように留意すること。

※3: 国保連合会の受付点検で「エラー」となった場合、本項目にエラー内容を設定し、市町村に提供する。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 5. 2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

5. 3. 2 訪問調査委託料支払情報取込エラーリスト (FLA1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

IV. 給付実績交換処理

1 給付実績交換処理業務

1. 1 受け渡し概要図

1. 1. 1 給付実績情報受け渡し概要

・市町村のみで保有している給付実績情報の国保連合会への新規登録及び更新(修正、取消)

市町村	国保連合会
<p>1 市町村は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報又は、障害児給付費都道府県等保有給付実績情報を作成し、国保連合会に提出する。(※1)</p> <p>3 市町村は、国保連合会から再提出依頼により、エラー内容を修正し、国保連合会へ再提出を行う。(以降、エラーが無くなるまで繰り返す)</p> <p>5 市町村は、給付実績更新結果情報を受理する。</p>	<p>2 国保連合会は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報又は、障害児給付費都道府県等保有給付実績情報を受付け、内容チェックを行う。エラーがあれば市町村に取込エラーリスト、給付実績情報チェックエラーリストを提供し、再提出を依頼する。</p> <p>4 国保連合会は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報の新規登録及び更新(修正、取消)し、障害児給付費都道府県等保有給付実績情報の更新(修正、取消)を行い、更新結果情報を市町村に提供する。</p>

備考

※1: 障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報の場合

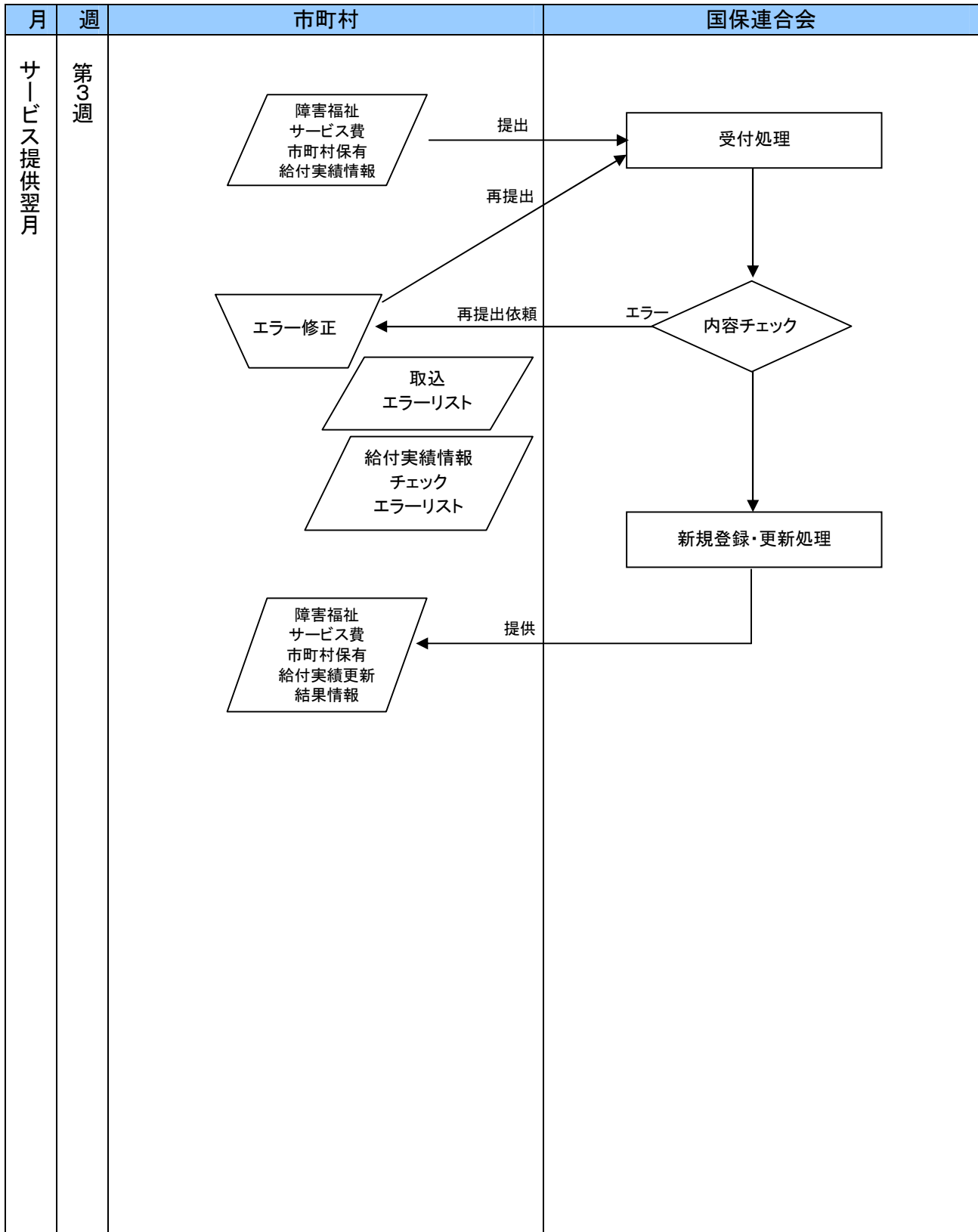
- ・新規登録時は、基本情報レコードの給付実績情報作成区分コードを“1”(新規)にして提出する。
- ・修正の場合は、基本情報レコードの給付実績情報作成区分コードを“2”(修正)にして提出する。
- ・取消の場合は、基本情報レコードの給付実績情報作成区分コードを“3”(取消)にして提出する。

障害児給付費都道府県等保有給付実績情報の場合

- ・修正の場合は、高額費支給レコードの給付実績情報作成区分コードを“2”(修正)にして提出する。
- ・取消の場合は、高額費支給レコードの給付実績情報作成区分コードを“3”(取消)にして提出する。

・市町村のみで保有している給付実績情報の国保連合会への新規登録及び更新(修正、取消)の給付実績情報受け渡し概要図

下記は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報での説明である。

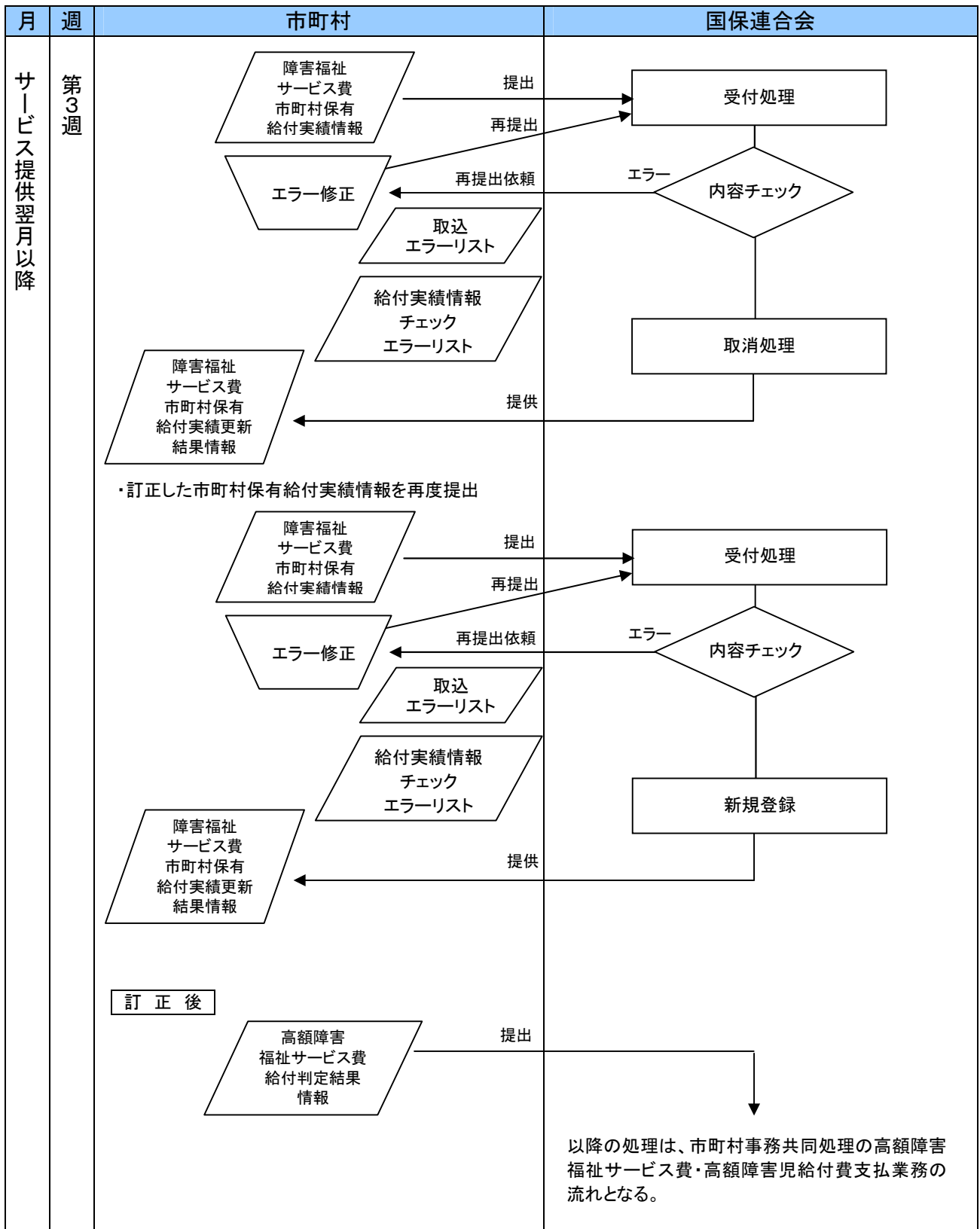


・高額障害福祉サービス費・高額障害児給付費の訂正(支払情報を再度作成する場合)

市町村	国保連合会
<p>1. 市町村は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報又は、障害児給付費都道府県等保有給付実績情報を作成し、国保連合会に提出する。(※1)</p> <p>3. 市町村は、国保連合会から再提出依頼により、エラー内容を修正し、国保連合会へ再提出を行う。(以降、エラーが無くなるまで繰り返す)</p> <p>5. 市町村は、給付実績更新結果情報を受理し、訂正した障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報を作成し、国保連合会に提出する。(※2)</p> <p>7. 市町村は、国保連合会から再提出依頼により、エラー内容を修正し、国保連合会へ再提出を行う。(以降、エラーが無くなるまで繰り返す)</p> <p>9. 市町村は、給付実績更新結果情報を受理し、訂正分の高額障害福祉サービス費給付判定結果情報、高額障害児給付費給付判定結果情報を作成し、国保連合会に提出する。</p>	<p>2. 国保連合会は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報、障害児給付費都道府県等保有給付実績情報を受付け、内容チェックを行う。エラーがあれば市町村に取込エラーリスト、給付実績情報チェックエラーリストを提供し、再提出を依頼する。</p> <p>4. 国保連合会は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報、障害児給付費都道府県等保有給付実績情報の更新(取消)を行い、給付実績更新結果情報を市町村に提供する。</p> <p>6. 国保連合会は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報を受付け、内容チェックを行う。エラーがあれば市町村に取込エラーリスト、給付実績情報チェックエラーリストを提供し、再提出を依頼する。</p> <p>8. 国保連合会は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報の新規登録を行い、給付実績更新結果情報を市町村に提供する。</p> <p>10. 以降の処理は、市町村事務共同処理の高額障害福祉サービス費・高額障害児給付費支払業務の流れとなる。</p>
<p>備考</p> <p>※1: 障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本情報レコードの給付実績情報作成区分コードを“3”(取消)にして提出する。 また、高額費支給レコードの給付実績情報作成区分コードを“3”(取消)にして提出する。 <p>障害児給付費都道府県等保有給付実績情報の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高額費支給レコードの給付実績情報作成区分コードを“3”(取消)にして提出する。 <p>※2: 基本情報レコードの給付実績情報作成区分コードを“1”(新規)にして提出する。</p>	

・高額障害福祉サービス費・高額障害児給付費の訂正(支払情報を再度作成する場合)の給付実績情報受け渡し概要図

下記は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報での説明である。

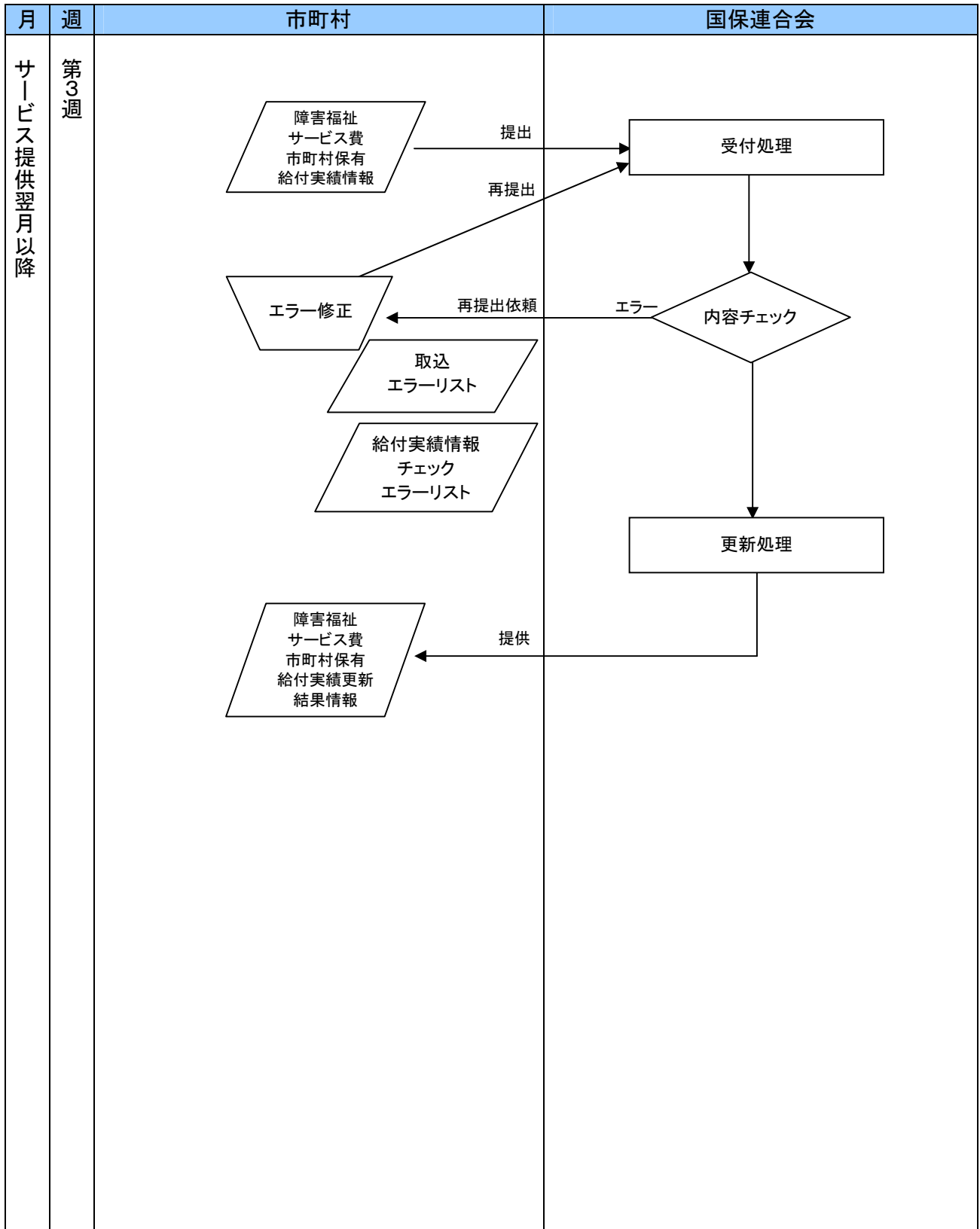


・償還払い分または高額障害福祉サービス費・高額障害児給付費の訂正
 (給付実績の修正のみを行う場合)

市町村	国保連合会
<p>1. 市町村は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報又は、障害児給付費都道府県等保有給付実績情報を作成し、国保連合会に提出する。(※1)</p> <p>3. 市町村は、国保連合会から再提出依頼により、エラー内容を修正し、国保連合会へ再提出を行う。</p> <p>5. 市町村は、給付実績更新結果情報を受理する。</p>	<p>2. 国保連合会は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報、障害児給付費都道府県等保有給付実績情報を受付け、内容チェックを行う。エラーがあれば市町村に取込エラーリスト、給付実績情報チェックエラーリストを提供し、再提出を依頼する。</p> <p>4. 国保連合会は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報、障害児給付費都道府県等保有給付実績情報の更新(修正)を行い、給付実績更新結果情報を市町村に提供する。</p>
<p>備考</p> <p>※1: 障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本情報レコード、高額費支給レコードの給付実績情報作成区分コードを“2”(修正)にして提出する。 <p>障害児給付費都道府県等保有給付実績情報の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高額費支給レコードの給付実績情報作成区分コードを“2”(修正)にして提出する。 	

・償還払い分または高額障害福祉サービス費・高額障害児給付費の訂正（給付実績の修正のみを行う場合）の給付実績情報受け渡し概要図

下記は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報での説明である。

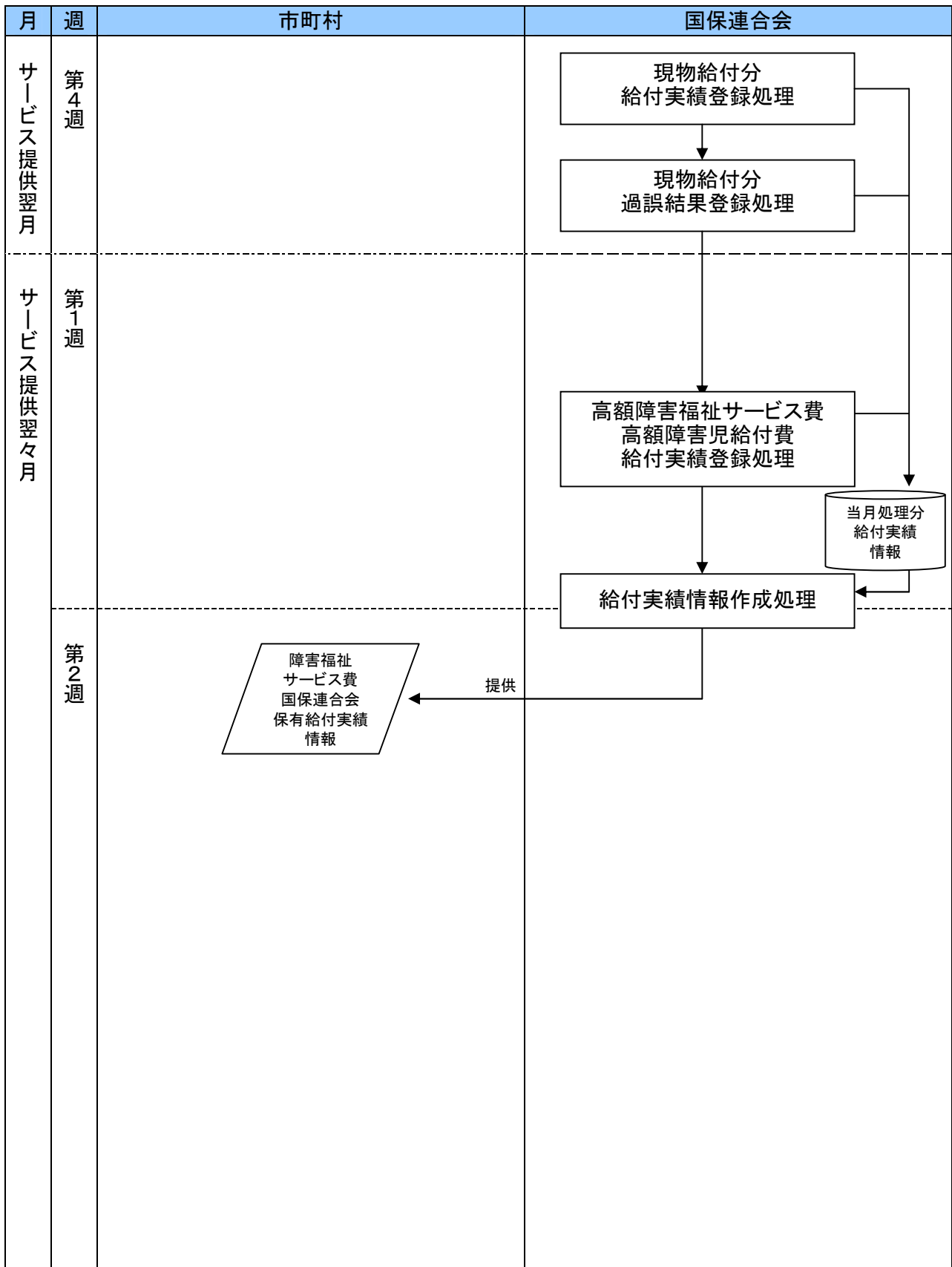


・国保連合会で保有している給付実績情報の市町村への提供

市町村	国保連合会
<p>5. 市町村は、障害福祉サービス費国保連合会保有給付実績情報、障害児給付費国保連合会保有給付実績情報を受理する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現物給付分の給付実績情報を登録する。 (支払業務) 2. 現物給付の過誤の結果を登録する。 (支払業務) 3. 高額障害福祉サービス費・高額障害児給付費の給付実績を登録する。 (市町村事務共同処理) 4. 障害福祉サービス費国保連合会保有給付実績情報、障害児給付費国保連合会保有給付実績情報を作成し、市町村に提供する。
備考	

・国保連合会で保有している給付実績の市町村への提供の給付実績情報受け渡し概要図

下記は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報での説明である。



1. 2 インタフェース一覧

1. 2. 1 給付実績交換情報（障害福祉サービス費）（入力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	G111	障害福祉サービス費 市町村保有給付実績情報	市町村で保有している障害福祉サービスの給付実績情報	市町村 → 国保連合会	月次	伝送

1. 2. 2 給付実績交換情報（障害児給付費）（入力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	D111	障害児給付費 都道府県等保有給付実績 情報	市町村で保有している障害児給付の給付実績情報	市町村 → 国保連合会	月次	伝送

1. 2. 3 給付実績交換情報（障害福祉サービス費）（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	G121	障害福祉サービス費 市町村保有給付実績 更新結果情報	市町村保有給付実績の更新結果 情報	国保連合会 → 市町村	月次	伝送
(2)	G131	障害福祉サービス費 国保連合会保有給付実績 情報	国保連合会保有の障害福祉サービスの給付実績情報	国保連合会 → 市町村	依頼時	伝送

1. 2. 4 給付実績交換情報（障害児給付費）（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	D121	障害児給付費 都道府県等保有給付実績 更新結果情報	市町村保有給付実績の更新結果 情報	国保連合会 → 市町村	月次	伝送
(2)	D131	障害児給付費 国保連合会保有給付実績 情報	国保連合会保有の障害児給付の 給付実績情報	国保連合会 → 市町村	依頼時	伝送

1. 2. 5 取込エラーリスト（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	G2A1	障害福祉サービス費 市町村保有給付実績情報 取込エラーリスト	障害福祉サービス費市町村保有 給付実績情報取込時のエラーリス ト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(2)	D2A1	障害児給付費 都道府県等保有給付実績 情報取込エラーリスト	障害児給付費都道府県等保有給 付実績情報取込時のエラーリス ト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF

1. 2. 6 給付実績情報チェックエラーリスト（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	G3A1	障害福祉サービス費 市町村保有給付実績情報 チェックエラーリスト	障害福祉サービス費市町村保有 給付実績情報チェック時のエラー リスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(2)	D3A1	障害児給付費 都道府県等保有給付実績 情報チェックエラーリスト	障害児給付費都道府県等保有給 付実績情報チェック時のエラーリ スト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF

1. 3 項目説明

本節では、「インタフェース仕様書 共通編 1. 2. 2(2)レコードフォーマット」のデータレコードフォーマットにおいて“データ”として記載されている項目の各交換情報のインタフェースについて記載する。

なお、障害児入所支援に関するインタフェース項目は、インタフェース仕様書都道府県編を参照。

1. 3. 1 障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報 (G111)

障害福祉サービス費市町村保有給付実績更新結果情報 (G121)

障害福祉サービス費国保連合会保有給付実績情報 (G131)

(1) レコード構成

各給付実績情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

1 : 基本情報レコード

- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(基本情報レコード)
- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(GH・CH)(基本情報レコード)
- ・特例介護給付費・特例訓練等給付費明細書情報(基本情報レコード)

2 : 日数情報レコード(複数レコード)

- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(日数情報レコード)
- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(GH・CH)(日数情報レコード)
- ・特例介護給付費・特例訓練等給付費明細書情報(日数情報レコード)

3 : 明細情報レコード(複数レコード)

- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(明細情報レコード)
- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(GH・CH)(明細情報レコード)
- ・特例介護給付費・特例訓練等給付費明細書情報(明細情報レコード)

4 : 集計情報レコード(複数レコード)

- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(集計情報レコード)
- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(GH・CH)(集計情報レコード)
- ・特例介護給付費・特例訓練等給付費明細書情報(集計情報レコード)

5 : 契約情報レコード(複数レコード)

- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(契約情報レコード)
- ・特例介護給付費・特例訓練等給付費明細書情報(契約情報レコード)

6 : 高額費支給レコード

- ・高額障害福祉サービス費の支給額等情報

7 : 補装具費支給レコード

- ・補装具費の支給額等情報

各交換情報識別番号とレコード構成、入力識別番号の対応は、以下の通りである。

項番	レコード名称	交換情報識別番号			
		障害福祉サービス			
		G111	G121	G131	
1	請求 明細書	基本情報レコード	◎:J221	◎:J221	◎:J121、J131、J221
2		日数情報レコード	◎:J221	◎:J221	◎:J121、J131、J221
3		明細情報レコード	◎:J221	◎:J221	◎:J121、J131、J221
4		集計情報レコード	◎:J221	◎:J221	◎:J121、J131、J221
5		契約情報レコード	○:J221	○:J221	○:J121、J221
6	高額費支給レコード	○:FC11	○:FC11	○:FC11	
7	補装具費支給レコード	○:FM11	○:FM11		

凡例:◎…必須レコード、○…実績内容により必要となるレコード、空白…不要なレコード
また、入力識別番号の内容は以下の通りである。

< 入力識別番号一覧 >

項番	区分	入力識別番号	情報名
1	障害 福祉 サー ビス	J121	介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(GH・CH以外)
2		J131	介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(GH・CH)
3		J221	特例介護給付費・特例訓練等給付費明細書情報
4		FC11	高額障害福祉サービス費情報
5	補 装 具	FM11	補装具費支給情報 サービス提供年月が平成24年4月以降使用

(2) レコード項目

① 基本情報レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)			備考
					J121	J131	J221	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	◎	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	◎	◎	※2
3	レコード種別コード	コード値	2	01を設定する(基本情報レコード)	◎	◎	◎	
4	給付実績情報 作成区分コード	コード値	1	給付実績情報の作成区分を出力	◎	◎	◎	1:新規 2:修正 3:取消
5	給付実績区分コード	コード値	1	給付実績の区分コードを設定する	◎	◎	◎	1:現物 2:償還 ※4
6	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する	◎	◎	◎	※3
7	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	◎	◎	※Y
8	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックデジット1桁含む)	◎	◎	◎	※C
9	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	◎	※C
10	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	◎	※C
11	助成自治体番号	コード値	6	助成自治体がある場合、市町村番号を設定する	○	○	○	※C
12	支給決定者氏名カナ	英数	25	支給決定者カナ氏名	△	△	△	
13	支給決定児童氏名カナ	英数	25	支給決定児童カナ氏名	△	△	△	
14	地域区分コード	コード値	2	地域区分コードを設定する	◎	◎	◎	※C
15	就労継続支援A型事業者 負担減免措置実施	コード値	1	1:無し 2:有り	◎			
16	利用者負担上限月額①	数値	6	利用者負担上限月額を設定する	◎	◎	◎	
17	就労継続支援A型減免 対象者	コード値	1	1:無し 2:有り	◎			
18	障害程度区分コード	英数	2	月の末日における障害程度区分コードを設定する		○		※C

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)			備考	
						J121	J131	J221		
19	上限額管理事業所	指定事業所 番号	コード値	10	上限額管理事業所の事業所番号 を設定する	○	○	○	※C	
20		管理結果	コード値	1	上限額管理結果票の管理結果を 設定する	○	○	○	※5	
21		管理結果額	数値	5	上限額管理結果票の管理結果額 を設定する	○	○	○		
22	日中支援加算欄	指定事業所 番号	コード値	10	連絡調整を行った日中介護事業所 の事業所番号を設定する		○		※C	
23		当該事業所への通 所日数	数値	2	日中介護事業所への通所日数を 設定する		○			
24	請求額集計欄 合計	給付単位数	数値	9	単位数の合計を設定する	◎	◎	◎		
25		総費用額	数値	10	サービスの総費用額の合計を設定 する	◎	◎	◎		
26		上限月額調整(① ②の内少ない数)	数値	6	上限月額調整(①②の内少ない 数)の合計を設定する	◎	◎	◎		
27		A型減免	事業者 減免額	数値	6	A型事業者減免額を設定	○			
28			減免後利用者 負担額	数値	6	A型減免後の利用者負担額を 設定	○			
29		調整後利用者 負担額	数値	6	調整後利用者負担額を設定する	○	○	○		
30		上限額管理後 利用者負担額	数値	6	上限額管理後利用者負担額	○	○	○		
31		決定利用者 負担額	数値	6	算定した結果の利用者負担額を設定する(自治体助成分請求額を控除する前の利用者負担額である)	◎	◎	◎		
32		請求額	給付費	数値	10	給付費の請求額を設定	◎	◎	◎	
33			高額障害福祉 サービス費	数値	10	高額障害福祉サービス費を設定			○	
34	特別対策費		数値	10	サービス提供年月が平成 24 年 4 月以降は、新体系定着支援に係る 請求額を設定 サービス提供年月が平成 21 年 10 月以降は、事業運営安定化および、移行時運営安定化に係る請求 額を設定 サービス提供年月が平成 21 年 9 月以前は、特別対策費である激変 緩和加算に係る請求額を設定	○	○	○	※6	

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)			備考
						J121	J131	J221	
35		自治体助成分 請求額	数値	6	利用者負担額のうち自治体が助成 する額を設定する	○	○	○	
36	特定 障害者 特別 給付 費(合 計)	算定日額	数値	4	算定する日額を設定する	○			
37		日数	数値	2	算定する日数を設定する	○			
38		給付費請求額	数値	5	給付費請求額を設定する	○	○		
39		実費算定額	数値	6	実費算定額を設定する	○	○		
40	受付年月		コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	◎	◎	※Y
41	点検結果		コード値	1	点検結果を設定する	○	○	○	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の 取下

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換処理1. 3. 1(1)入力識別番号一覧」参照。

※3:整理番号は、市町村内で一意となるように設定する。

※4:市町村保有給付実績情報を国保連合会に提出する場合は、2:償還を設定する。

また、市町村で基準該当事業所の請求について受領委任払いの運用を行っている場合も
2:償還を設定する。

※5 “1” : 管理事業所で利用者負担額を充当したため、他事業所の利用者負担は発生しない。

“2” : 利用者負担額の合計額が、負担上限月額以下のため、調整事務は行わない。

“3” : 利用者負担額の合計額が、負担上限月額を超過するため、下記のとおり調整した。

※6:サービス提供年月が平成25年4月以降は、設定しない。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換処理1. 2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

② 日数情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力(※1)			備考	
					J121	J131	J221		
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	◎	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	◎	◎	※2	
3	レコード種別コード	コード値	2	02を設定する(日数情報レコード)	◎	◎	◎		
4	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する	◎	◎	◎	※3	
5	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	◎	◎	※Y	
6	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(フェッ クデジット1桁含む)	◎	◎	◎	※C	
7	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	◎	※C	
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番 号	◎	◎	◎	※C	
9	サービス種類コード	コード値	2	サービス種類コード2桁を設定する	◎	◎	◎	※C	
10	サービス開始日等	開始年月日	コード値	8	サービス種類毎の開始年月日(入所年 月日等)(西暦年月日 YYYYMMDD を設 定する)	◎	◎	◎	※Y
11		終了年月日	コード値	8	サービス種類毎の終了年月日(退所年 月日等)(西暦年月日 YYYYMMDD を設 定する)	○	○	○	※Y
12		利用日数	数値	2	サービス種類毎に利用日数を設定する	◎		◎	
13		入院日数	数値	2	サービス種類毎に入院日数を設定する	○	○		
14		外泊日数	数値	2	サービス種類毎に外泊日数を設定する	○	○		
15	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設 定する	◎	◎	◎	※Y	
16	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	○	○	○	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤 の取下	

※1: 必須入力(入力識別番号毎) ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要

なお、障害福祉サービス費国保連合会保有給付実績情報(G131)の場合は、出力対象項目と
読替え、次の内容とする。

◎: 出力対象項目、○: 請求内容により出力対象となる項目

△: 事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白: 出力対象外項目

※2: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1. 3. 1(1) 入力識別番号一覧」参照。

※3: 整理番号は、市町村内で一意となるように設定する。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1. 2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

③ 明細情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2
3	レコード種別コード	コード値	2	03を設定する(明細情報レコード)	◎	
4	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する	◎	※3
5	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	※Y
6	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックジット1桁含む)	◎	※C
7	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C
9	サービスコード	コード値	6	サービスコード6桁	◎	※C
10	単位数	数値	6	サービスコードごとの単位数	◎	
11	回数	数値	3	サービスコードごとの回数	◎	
12	サービス単位数	数値	9	サービスコードごとの算定額	◎	
13	摘要	漢字	100	サービスコードごとの摘要	○	
14	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	※Y
15	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	○	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の 取下

※1: 必須入力 ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要

なお、障害福祉サービス費国保連合会保有給付実績情報(G131)の場合は、出力対象項目と読替え、次の内容とする。

◎: 出力対象項目、○: 請求内容により出力対象となる項目

△: 事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白: 出力対象外項目

※2: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1. 3. 1(1) 入力識別番号一覧」参照。

※3: 整理番号は、市町村内で一意となるように設定する。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1. 2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

④ 集計情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)			備考	
					J121	J131	J221		
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	◎	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	◎	◎	※2	
3	レコード種別コード	コード値	2	04を設定する(集計情報レコード)	◎	◎	◎		
4	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する	◎	◎	◎	※3	
5	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	◎	◎	※Y	
6	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェック デジット1桁含む)	◎	◎	◎	※C	
7	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	◎	※C	
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	◎	※C	
9	サービス種類コード	コード値	2	サービス種類コード2桁を設定する	◎	◎	◎	※C	
10	請求額集計欄	集計欄 分類番号	コード値	1	同一のサービス種類コードで複数の集計 情報を作成する為の集計欄分類番号を 設定	◎	◎	◎	
11		サービス 利用日数	数値	2	サービス利用日数を設定 本体報酬を算定しない日において、各種 加算のみを算定した場合も1日とカウント する 上限額管理加算、欠席時対応加算等も1 日とカウントする	◎	◎	◎	
12		給付単位数	数値	9	サービス種類コードごと集計欄分類番号 ごとの単位数を設定する	◎	◎	◎	
13		単位数単価	数値	5	整数部2桁小数部3桁の半角数字(小数 部が3桁を超える場合、小数第4位を四 捨五入)8.5 円の場合、08500(または 8500)を設定する	◎	◎	◎	※Y
14		給付率	数値	3	0を設定する(サービス提供年月が平成 24年3月以前:給付率を設定する)	◎	◎	◎	
15		総費用額	数値	10	サービスの総費用額を設定する	◎	◎	◎	
16		1割相当額(サ ービス提供年月 が平成24年3 月以前:給付率 に基づく請求額)	数値	10	総費用額の1割に相当する額を設定する (サービス提供年月が平成24年3月以 前:総費用額×給付率/100)	◎	◎	◎	
17		利用者負担額② (サービス提供 年月が平成24 年3月以前:給 付率に基づく利 用者負担額②)	数値	6	1割相当額を設定する (サービス提供年月が平成24年3月以 前:総費用額－給付率に基づく請求額)	◎	◎	◎	
18		上限月額調整 (①②の内少 ない数)	数値	6	利用者負担上限月額と利用者負担額② のうち少ないほうを設定する	◎	◎	◎	

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)			備考
						J121	J131	J221	
19	A型減免	事業者減免額	数値	6	A型事業者減免額を設定	○			
20		減免後利用者負担額	数値	6	A型減免後の利用者負担額を設定	○			
21	調整後利用者負担額		数値	6	調整後利用者負担額を設定する	○	○	○	
22	上限額管理後利用者負担額		数値	6	上限額管理後利用者負担額を設定する	○	○	○	
23	決定利用者負担額		数値	6	算定した結果の利用者負担額を設定する(自治体助成分請求額を控除する前の利用者負担額である)	◎	◎	◎	
24	請求額集計欄	給付費	数値	10	給付費の請求額を設定する	◎	◎	◎	
25		高額障害福祉サービス費	数値	10	高額障害福祉サービス費の請求額を設定する			○	
26		特別対策費	数値	10	サービス提供年月が平成24年4月以降は、新体系定着支援に係る請求額を設定 サービス提供年月が平成21年10月以降は、事業運営安定化および、移行時運営安定化に係る請求額を設定 サービス提供年月が平成21年9月以前は、特別対策費である激変緩和加算に係る請求額を設定	○	○	○	※4
27		自治体助成分請求額	数値	6	利用者負担額のうち自治体が助成する額を設定する	○	○	○	
28	特定障害者特別給付費	算定日額	数値	4	サービス種類ごとに算定する日額を設定する	○			
29		日数	数値	2	サービス種類ごとに算定する日数を設定する	○			
30		給付費請求額	数値	5	サービス種類ごとに給付費請求額を設定する	○	○		
31		実費算定額	数値	6	サービス種類ごとに実費算定額を設定する	○	○		
32	利用日数管理票	対象期間(開始)	コード値	6	利用日数の特例開始年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	○		○	※Y
33		対象期間(終了)	コード値	6	利用日数の特例終了年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	○		○	※Y
34		当月の利用日数	数値	2	当月の利用日数	○		○	
35		原則日数の総和	数値	3	対象期間における原則日数の総和を設定する	○		○	
36	受付年月		コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	◎	◎	※Y
37	点検結果		コード値	1	点検結果を設定する	○	○	○	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の取下

※1: 必須入力(入力識別番号毎) ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要
なお、障害福祉サービス費国保連合会保有給付実績情報(G131)の場合は、出力対象項目と
読替え、次の内容とする。

◎: 出力対象項目、○: 請求内容により出力対象となる項目

△: 事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白: 出力対象外項目

※2: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1. 3. 1(1) 入力識別番号一覧」参照。

※3: 整理番号は、市町村内で一意となるように設定する。

※4: サービス提供年月が平成 25 年 4 月以降は、設定しない。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1. 2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

⑤ 契約情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)		備考
					J121	J221	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	◎	※2
3	レコード種別コード	コード値	2	05を設定する(契約情報レコード)	◎	◎	
4	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する	◎	◎	※3
5	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	◎	※Y
6	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェック ジット1桁含む)	◎	◎	※C
7	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	※C
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	※C
9	決定サービスコード	コード値	6	決定サービスコード6桁を設定する	◎	◎	※C
10	契約支給量	数値	5	整数部上3桁、小数部下2桁を設定する 100.5時間→1005 012日→01200(または1200) 5回→00500(または500)	◎	◎	
11	契約開始年月日	コード値	8	契約を開始した年月日(西暦年月日 YYYYMMDDを設定する)	◎	◎	※Y
12	契約終了年月日	コード値	8	契約を終了した年月日(西暦年月日 YYYYMMDDを設定する)	○	○	※Y
13	事業者記入欄番号	数値	2	受給者証の事業者記入欄番号を設定する	◎	◎	
14	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定	◎	◎	※Y
15	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	○	○	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の 取下

※1: 必須入力(入力識別番号毎) ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要
なお、障害福祉サービス費国保連合会保有給付実績情報(G131)の場合は、出力対象項目と
読替え、次の内容とする。

◎: 出力対象項目、○: 請求内容により出力対象となる項目

△: 事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白: 出力対象外項目

※2: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1. 3. 1(1)入力識別番号一覧」参照。

※3: 整理番号は、市町村内で一意となるように設定する。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1. 2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

⑥ 高額費支給レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2
3	レコード種別コード	コード値	2	06を設定する(高額費支給レコード)	◎	
4	給付実績情報 作成区分コード	コード値	1	給付実績情報の作成区分を出力	◎	1:新規 2:修正 3:取消
5	給付実績区分コード	コード値	1	給付実績の区分コードを設定する	◎	1:現物 2:償還
6	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	※Y
7	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェッ クゲジット1桁含む)	◎	※C
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番 号	◎	※C
9	受付年月日	コード値	8	受給者からの申請を受け付けた年月日 (西暦年月 YYYYMMDDを設定する)	◎	※Y
10	決定年月日	コード値	8	市町村が支給を決定した年月日(西暦 年月 YYYYMMDDを設定する)	◎	※Y
11	利用者負担額	数値	6	受給者が支払った金額を設定する	◎	
12	支給額	数値	6	受給者に支払った金額を設定する	◎	
13	受付年月	コード値	6	高額障害福祉サービス費給付判定結果 情報のコントロールレコードの処理対象 年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	※Y

※1:必須入力(入力識別番号毎) ◎:必須、○:請求内容により必須、△:任意設定、空白:不要
なお、障害福祉サービス費国保連合会保有給付実績情報(G131)の場合は、出力対象項目と
読替え、次の内容とする。

◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1. 3. 1(1)入力識別番号一覧」参照。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1. 2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

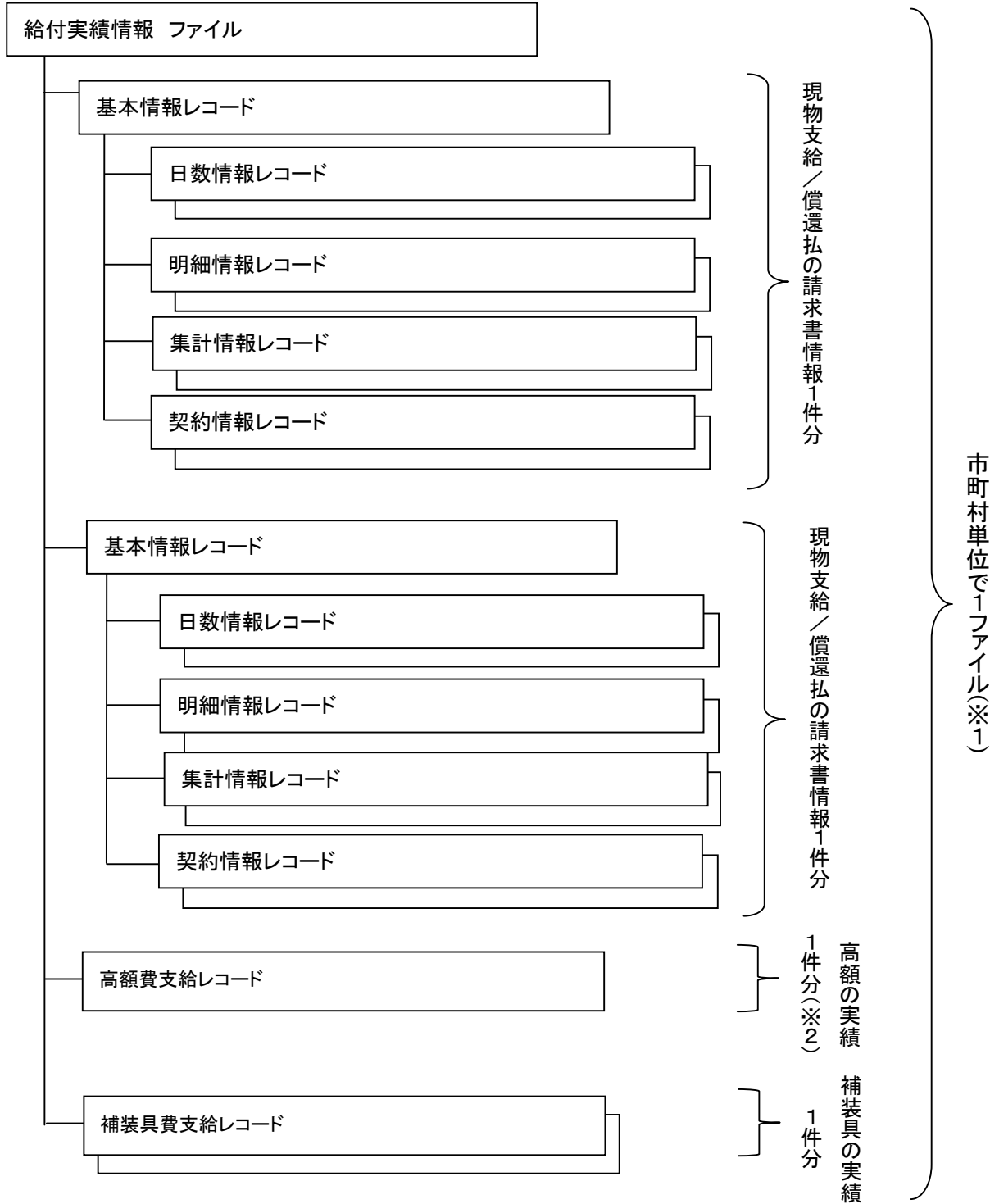
⑦ 補装具費支給レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2	
3	レコード種別コード	コード値	2	07を設定する(補装具費支給レコード)	◎		
4	給付実績情報 作成区分コード	コード値	1	給付実績情報の作成区分を出力	◎	1:新規 2:修正 3:取消	
5	算定年月	コード値	6	補装具を支給決定した年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	※Y	
6	証記載市町村番号	コード値	6	受給者証記載の都道府県等番号、または受給 者証記載の市町村番号を設定する	◎		
7	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号を設定 する	◎	※C ※3	
8	受給者証番号種別	コード値	1	受給者証番号の種別を設定する	◎	1:障害者 総合支援 法に基づ く受給者 証番号 2:児童福 祉法に基づ く受給者 証番号 ※4	
9	補 装 具 情 報	氏名(漢字)	漢字	40	氏名(漢字)を設定する	△	
10		郵便番号	コード値	7	郵便番号を設定する	△	
11		住所(カナ)	英数	75	住所(カナ)を設定する	△	
12		住所(漢字)	漢字	128	住所(漢字)を設定する	△	
13		電話番号	英数	15	電話番号を設定する	△	
14	利用者負担上限月額	数値	6	補装具の利用者負担上限月額を設定する	◎		
15	利用者負担額	数値	6	補装具の利用者が負担した金額を設定する	◎	※5	

- ※1: 必須入力(入力識別番号毎) ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要
- ※2: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1. 3. 1(1)入力識別番号一覧」参照。
- ※3: 障害者の場合は、本人の受給者証番号を設定する。なお、障害者の場合で、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス費及び地域相談支援給付費を併給しており、それぞれの受給者証番号が異なる場合は、障害福祉サービス費の受給者証番号を設定する。
障害児の場合は、保護者の受給者証番号を設定する。なお、障害児の場合で、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス費及び児童福祉法に基づく障害児給付費を併給する場合は、いずれかの受給者証番号を設定する。
- ※4: 障害者で障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス費を受給している場合は、「1」を設定する。
障害児で児童福祉法に基づく障害児給付費を受給している場合は、「2」を設定する。障害児で障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス費を受給している場合は、「1」を設定する。なお、障害児の場合で、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス費及び児童福祉法に基づく障害児給付費を併給する場合は、「1」、「2」のいずれかを設定する。
- ※5: 利用者が補装具の総費用額を全て自己負担し、償還払いとなるケースの場合、総費用額を設定するのではなく、本来利用者が負担すべき費用を設定する。
- ※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1. 2 インタフェース一覧」参照。
- ※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。
- ※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。
- ※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

給付実績情報(障害福祉サービス費) ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



※1: 政令市で受給者証に記載する市町村番号を行政区毎に分けている場合であっても、政令市単位で1ファイルとする
 ※2: 同じサービス提供月に複数回高額費の支給(差分)があった場合は、複数のレコードとなる

- 1. 3. 2 障害児給付費都道府県等保有給付実績情報 (D111)
 - 障害児給付費都道府県等保有給付実績更新結果情報 (D121)
 - 障害児給付費国保連合会保有給付実績情報 (D131)

(1) レコード構成

各給付実績情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

- 1 : 基本情報レコード
 - ・障害児通所給付費・入所給付費等明細書情報(基本情報レコード)
 - ・特例障害児通所給付費等明細書情報(基本情報レコード)

- 2 : 日数情報レコード(複数レコード)
 - ・障害児通所給付費・入所給付費等明細書情報(日数情報レコード)
 - ・特例障害児通所給付費等明細書情報(日数情報レコード)

- 3 : 明細情報レコード(複数レコード)
 - ・障害児通所給付費・入所給付費等明細書情報(明細情報レコード)
 - ・特例障害児通所給付費等明細書情報(明細情報レコード)

- 4 : 集計情報レコード(複数レコード)
 - ・障害児通所給付費・入所給付費等明細書情報(集計情報レコード)
 - ・特例障害児通所給付費等明細書情報(集計情報レコード)

- 5 : 契約情報レコード(複数レコード)
 - ・障害児通所給付費・入所給付費等明細書情報(契約情報レコード)
 - ・特例障害児通所給付費等明細書情報(契約情報レコード)

- 6 : 高額費支給レコード
 - ・高額障害児給付費の支給額等情報

各交換情報識別番号とレコード構成、入力識別番号の対応は、以下の通りである。

項番	レコード名称		交換情報識別番号		
			障害児支援		
			D111	D121	D131
1	請求 明細書	基本情報レコード	◎:K221	◎:K221	◎:K122,K221
2		日数情報レコード	◎:K221	◎:K221	◎:K122,K221
3		明細情報レコード	◎:K221	◎:K221	◎:K122,K221
4		集計情報レコード	◎:K221	◎:K221	◎:K122,K221
5		契約情報レコード	○:K221	○:K221	○:K122,K221
6		高額費支給レコード	○:CC11	○:CC11	○:CC11

凡例:◎…必須レコード、○…実績内容により必要となるレコード、空白…不要なレコード
また、入力識別番号の内容は以下の通りである。

< 入力識別番号一覧 >

項番	区分	入力識別番号	情報名
1	障害児給付 障害児支援	K122	障害児通所給付費・入所給付費等明細書情報 ※サービス提供年月が平成 24 年 4 月以降使用
2		K221	特例障害児通所給付費等明細書情報 ※サービス提供年月が平成 24 年 4 月以降使用
3		CC11	高額障害児給付費情報

(2) レコード項目

① 基本情報レコード

項番	項目名	属性 (※2)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)		備考
					K122	K221	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	◎	※2
3	レコード種別コード	コード値	2	01を設定する(基本情報レコード)	◎	◎	
4	給付実績情報作成区分コード	コード値	1	給付実績情報の作成区分を出力	◎	◎	1:新規 2:修正 3:取消
5	給付実績区分コード	コード値	1	給付実績の区分コードを設定する	◎	◎	1:現物 2:償還 ※5
6	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する	◎	◎	※3
7	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月YYYYMMを設定する)	◎	◎	※Y
8	都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号	◎	◎	※C
9	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	※C
10	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	※C
11	助成自治体番号	コード値	6	助成自治体がある場合、市町村番号を設定する	○	○	※C
12	給付決定保護者氏名カナ	英数	25	給付決定保護者カナ氏名	△	△	
13	給付決定に係る障害児氏名カナ	英数	25	給付決定に係る障害児カナ氏名	△	△	
14	地域区分コード	コード値	2	地域区分コードを設定する	◎	◎	※C
15	就労継続支援A型事業者負担減免措置実施	コード値	1	設定しない			
16	利用者負担上限月額①	数値	6	利用者負担上限月額を設定する	◎	◎	
17	就労継続支援A型減免対象者	コード値	1	設定しない			
18	障害程度区分コード	英数	2	設定しない			

項番	項目名		属性 (※2)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)		備考	
						K122	K221		
19	上限額管理事業所	指定事業所番号	コード値	10	上限額管理事業所の事業所番号を設定する	○	○	※C	
20		管理結果	コード値	1	上限額管理結果票の管理結果を設定する	○	○	※4	
21		管理結果額	数値	5	上限額管理結果票の管理結果額を設定する	○	○		
22	日中支援加算欄	指定事業所番号	コード値	10	設定しない				
23		当該事業所への通所日数	数値	2	設定しない				
24	請求額集計欄 合計	給付単位数	数値	9	サービス種類コードごとの単位数を設定する	◎	◎		
25		総費用額	数値	10	サービスの総費用額を設定する	◎	◎		
26		上限月額調整 (①②の内少ない数)	数値	6	上限月額調整(①②の内少ない数)の合計を設定する	◎	◎		
27		A型 減免	事業者 減免額	数値	6	設定しない			
28			減免後利用 者負担額	数値	6	設定しない			
29		調整後利用者 負担額	数値	6	調整後利用者負担額を設定する	○	○		
30		上限額管理後 利用者負担額	数値	6	上限額管理後利用者負担額	○	○		
31		決定利用者 負担額	数値	6	算定した結果の利用者負担額を設定する (自治体助成分請求額を控除する前の利用者負担額である)	◎	◎		
32		請求 額	給付費	数値	10	給付費の請求額を設定する	◎	◎	
33			高額障害児 通所給付費	数値	10	高額障害児通所給付費の請求額を設定する		○	
34		請求 額	特別対策費	数値	10	サービス提供年月が平成24年4月以降は、新体系定着支援に係る請求額を設定 サービス提供年月が平成21年10月以降は、事業運営安定化に係る請求額を設定 サービス提供年月が平成21年9月以前は、特別対策費である激変緩和加算に係る請求額を設定	○	○	※6
35	自治体助成分 請求額		数値	6	利用者負担額のうち自治体が助成する額を設定する	○	○		

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)		備考
						K122	K221	
36	特定入所障害児 食費等給付費(合計)	算定日額	数値	4	設定しない			
37		日数	数値	2	設定しない			
38		給付費請求額	数値	5	設定しない			
39		実費算定額	数値	6	設定しない			
40	受付年月		コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	◎	※Y
41	点検結果		コード値	1	点検結果を設定する	○	○	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の 取下

※1: 必須入力(入力識別番号毎) ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要

※2: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換処理 1. 3. 2(1)入力識別番号一覧」参照。

※3: 整理番号は、市町村内で一意となるように設定する。

※4: “1”: 管理事業所で利用者負担額を充当したため、他事業所の利用者負担は発生しない。

“2”: 利用者負担額の合計額が、負担上限月額以下のため、調整事務は行わない。

“3”: 利用者負担額の合計額が、負担上限月額を超過するため、下記のとおり調整した。

※5: 都道府県等保有給付実績情報を国保連合会に提出する場合は、2:償還を設定する。

また、市町村で基準該当事業所の請求について受領委任払いの運用を行っている場合も
2:償還を設定する。

※6: サービス提供年月が平成 25 年 4 月以降は、設定しない。

※B: 「インタフェース仕様書 都道府県編 IV. 給付実績交換処理 1. 2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

② 日数情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※2)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)		備考	
					K122	K221		
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	◎	※2	
3	レコード種別コード	コード値	2	02を設定する(日数情報レコード)	◎	◎		
4	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する	◎	◎	※3	
5	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	◎	※Y	
6	都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チケット1桁含む)	◎	◎	※C	
7	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	※C	
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	※C	
9	サービス種類コード	コード値	2	サービス種類コード 2桁を設定する	◎	◎	※C	
10	サービス開始日等	開始年月日	コード値	8	サービス種類毎の開始年月日(入所年月日等)(西暦年月日 YYYYMMDDを設定する)	◎	◎	※Y
11		終了年月日	コード値	8	サービス種類毎の終了年月日(退所年月日等)(西暦年月日 YYYYMMDDを設定する)	○	○	※Y
12		利用日数	数値	2	サービス種類毎に利用日数を設定する	◎	◎	
13		入院日数	数値	2	設定しない			
14		外泊日数	数値	2	設定しない			
15	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	◎	※Y	
16	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	○	○	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の 取下	

※1: 必須入力(入力識別番号毎) ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要
 なお、障害児給付費国保連合会保有給付実績情報(D131)の場合は、出力対象項目と
 読替え、次の内容とする。

◎: 出力対象項目、○: 請求内容により出力対象となる項目

△: 事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白: 出力対象外項目

※2: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換処理 1. 3. 2(1)入力識別番号一覧」参照。

※3: 整理番号は、市町村内で一意となるように設定する。

- ※B: 交換情報識別番号は「1. 2 インタフェース一覧」を参照。
- ※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。
- ※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。
- ※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

③ 明細情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須 入力 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2
3	レコード種別コード	コード 値	2	03を設定する(明細情報レコード)	◎	
4	整理番号	コード 値	10	整理番号を設定する	◎	※3
5	サービス提供年月	コード 値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	※Y
6	都道府県等番号	コード 値	6	受給者証に記載された市町村番号(チエツ ケデジット1桁含む)	◎	※C
7	事業所番号	コード 値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C
9	サービスコード	コード 値	6	サービスコード6桁	◎	※C
10	単位数	数値	6	サービスコードごとの単位数	◎	
11	回数	数値	3	サービスコードごとの回数	◎	
12	サービス単位数	数値	9	サービスコードごとの算定額	◎	
13	摘要	漢字	100	サービスコードごとの摘要	○	
14	受付年月	コード 値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	※Y
15	点検結果	コード 値	1	点検結果を設定する	○	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の 取下

※1: 必須入力 ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要

なお、障害児給付費国保連合会保有給付実績情報(D131)の場合は、出力対象項目と読替え、次の内容とする。

◎: 出力対象項目、○: 請求内容により出力対象となる項目

△: 事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白: 出力対象外項目

※2: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換処理 1. 3. 2(1)入力識別番号一覧」参照。

※3: 整理番号は、市町村内で一意となるように設定する。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1. 2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

④ 集計情報レコード（複数レコード）

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)		備考
						K122	K221	
1	交換情報識別番号		英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	※B
2	入力識別番号		英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	◎	※2
3	レコード種別コード		コード値	2	04を設定する(集計情報レコード)	◎	◎	
4	整理番号		コード値	10	整理番号を設定する	◎	◎	※3
5	サービス提供年月		コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月YYYYMMを設定する)	◎	◎	※Y
6	都道府県等番号		コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックジット1桁含む)	◎	◎	※C
7	事業所番号		コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	※C
8	受給者証番号		英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	※C
9	サービス種類コード		コード値	2	サービス種類コード2桁を設定する	◎	◎	※C
10	請求額集計欄	集計欄分類番号	コード値	1	同一のサービス種類コードで複数の集計情報を作成する為の集計欄分類番号を設定	◎	◎	
11		サービス利用日数	数値	2	サービス利用日数を設定する 本体報酬を算定しない日において、各種加算のみを算定した場合も1日とカウントする。上限額管理加算、欠席時対応加算等も1日とカウントする。	◎	◎	
12		給付単位数	数値	9	サービス種類コードごと集計欄分類番号ごとの単位数を設定する	◎	◎	
13		単位数単価	数値	5	整数部2桁、小数部3桁の半角数字8.5円の場合、08500(または8500)を設定する	◎	◎	※Y
14		給付率	数値	3	0を設定する(サービス提供年月が平成24年3月以前:給付率を設定する)	◎	◎	
15		総費用額	数値	10	サービスの総費用額を設定する	◎	◎	
16		1割相当額(サービス提供年月が平成24年3月以前:給付率に基づく請求額)	数値	10	総費用額の1割に相当する額を設定する(サービス提供年月が平成24年3月以前:総費用額×給付率/100)	◎	◎	
17		利用者負担額②(サービス提供年月が平成24年3月以前:給付率に基づく利用者負担額②)	数値	6	1割相当額を設定する (サービス提供年月が平成24年3月以前:総費用額－給付率に基づく請求額)	◎	◎	
18		上限月額調整(①②の内少ない数)	数値	6	利用者負担上限月額と利用者負担額②のうち少ないほうを設定する	◎	◎	
19		A型減免	事業者減免額	数値	6	設定しない		
20	A型減免	減免後利用者負担額	数値	6	設定しない			

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)		備考
						K122	K221	
21	調整後利用者負担額		数値	6	調整後利用者負担額を設定する	○	○	
22	上限額管理後利用者負担額		数値	6	上限額管理後利用者負担額を設定する	○	○	
23	決定利用者負担額		数値	6	算定した結果の利用者負担額を設定する(自治体助成分請求額を控除する前の利用者負担額である)	◎	◎	
24	請求額 集計欄	給付費	数値	10	給付費請求額を設定する	◎	◎	
25		高額障害児 通所給付費	数値	10	高額障害児通所給付費の請求額を設定する		○	
26		特別対策費	数値	10	サービス提供年月が平成24年4月以降は、新体系定着支援に係る請求額を設定 サービス提供年月が平成21年10月以降は、事業運営安定化に係る請求額を設定 サービス提供年月が平成21年9月以前は、特別対策費である激変緩和加算に係る請求額を設定	○	○	※4
27		自治体助成分請求額	数値	6	利用者負担額のうち自治体が助成する額を設定する	○	○	
28		算定日額	数値	4	設定しない			
29	特定入所障害児 食費等給付費	日数	数値	2	設定しない			
30		給付費請求額	数値	5	設定しない			
31		実費算定額	数値	6	設定しない			
32		対象期間(開始)	コード値	6	設定しない			
33	利用日数 管理票	対象期間(終了)	コード値	6	設定しない			
34		当月の利用日数	数値	2	設定しない			
35		原則日数の総和	数値	3	設定しない			
36	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	◎	※Y	
37	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	○	○	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の 取下	

※1: 必須入力(入力識別番号毎) ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要
 なお、障害児給付費国保連合会保有給付実績情報(D131)の場合は、出力対象項目と

読替え、次の内容とする。

◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換処理 1. 3. 2(1)入力識別番号一覧」参照。

※3:整理番号は、市町村内で一意となるように設定する。

※4:サービス提供年月が平成 25 年 4 月以降は、設定しない。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1. 2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

⑤ 契約情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須 入力 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2
3	レコード種別コード	コード値	2	05を設定する(契約情報レコード)	◎	
4	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する	◎	※3
5	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	※Y
6	都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チエックデ ジット1桁含む)	◎	※C
7	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C
9	決定サービスコード	コード値	6	決定サービスコード6桁を設定する	◎	※C
10	契約支給量	数値	5	整数部上3桁、小数部下2桁を設定する 100.5時間→1005 012日→01200(または1200) 5回→00500(または500)	◎	
11	契約開始年月日	コード値	8	契約を開始した年月日(西暦年月日 YYYYMMDDを設定する)	◎	※Y
12	契約終了年月日	コード値	8	契約を終了した年月日(西暦年月日 YYYYMMDDを設定する)	○	※Y
13	事業者記入欄番号	数値	2	受給者証の事業者記入欄番号を設定する	◎	
14	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定	◎	※Y
15	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	○	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の 取下

※1: 必須入力(入力識別番号毎) ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要
なお、障害児給付費国保連合会保有給付実績情報(D131)の場合は、出力対象項目と
読替え、次の内容とする。

◎: 出力対象項目、○: 請求内容により出力対象となる項目

△: 事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白: 出力対象外項目

※2: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1. 3. 2(1)入力識別番号一覧」参照。

※3: 整理番号は、市町村内で一意となるように設定する。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1. 2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

⑥ 高額費支給レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須 入力 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2
3	レコード種別コード	コード値	2	06を設定する(高額費支給レコード)	◎	
4	給付実績情報作成区分 コード	コード値	1	給付実績情報の作成区分を出力	◎	1:新規 2:修正 3:取消
5	給付実績区分コード	コード値	1	給付実績の区分コードを設定する	◎	1:現物 2:償還
6	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	※Y
7	都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チ ェックデジット1桁含む)	◎	※C
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証 番号	◎	※C
9	受付年月日	コード値	8	受給者からの申請を受け付けた年月 日(西暦年月 YYYYMMDD を設定す る)	◎	※Y
10	決定年月日	コード値	8	市町村が支給を決定した年月日(西暦 年月日 YYYYMMDD を設定する)	◎	※Y
11	利用者負担額	数値	6	受給者が支払った金額を設定する	◎	
12	支給額	数値	6	受給者に支払った金額を設定する	◎	
13	受付年月	コード値	6	高額障害児給付費給付判定結果情報 のコントロールレコードの処理対象年 月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	※Y

※1: 必須入力(入力識別番号毎) ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要
 なお、障害児給付費国保連合会保有給付実績情報(D131)の場合は、出力対象項目と
 読替え、次の内容とする。

◎: 出力対象項目、○: 請求内容により出力対象となる項目

△: 事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白: 出力対象外項目

※2: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換処理 1. 3. 2(1)入力識別番号一覧」参照。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1. 2 インタフェース一覧」参照。

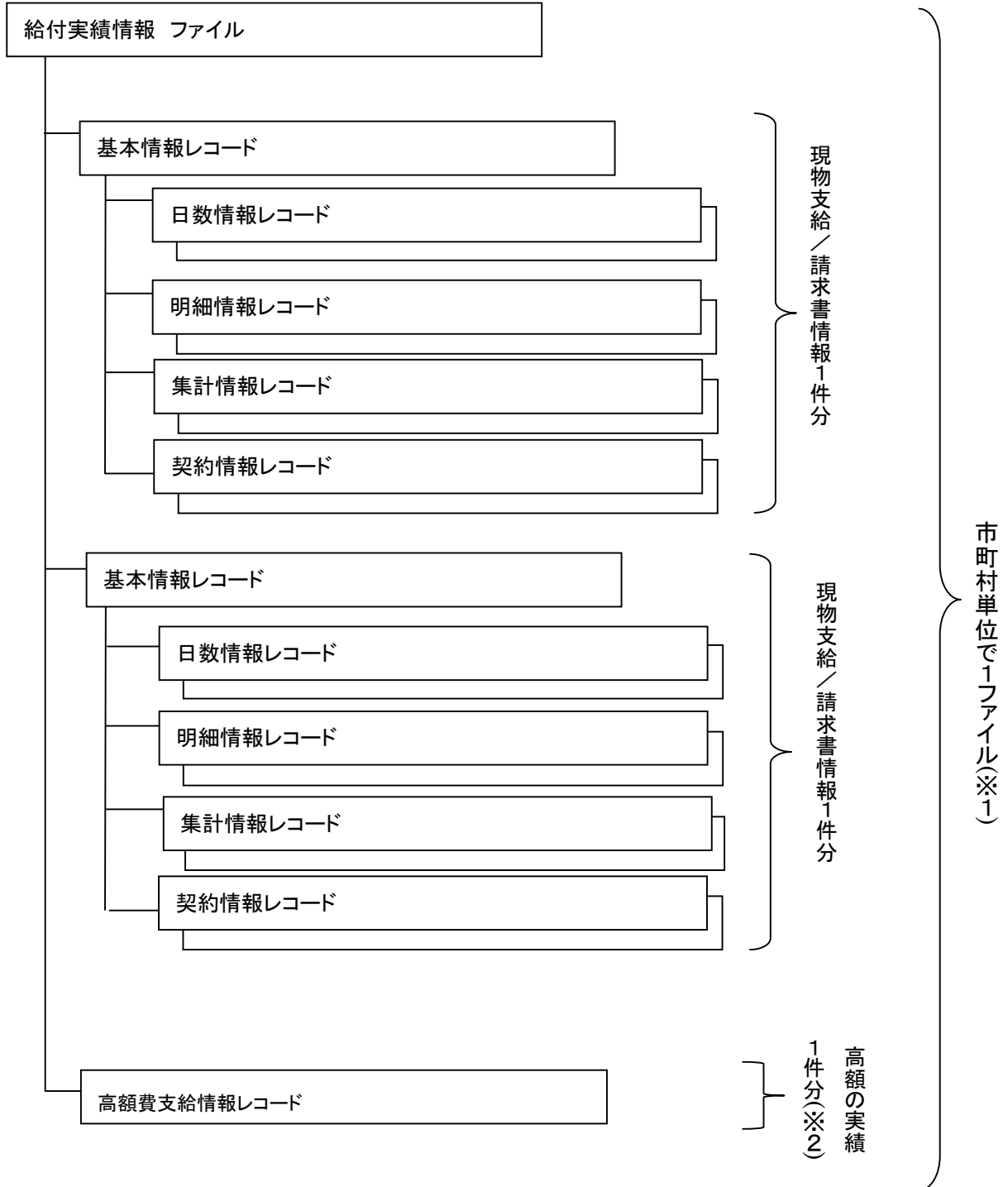
※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

給付実績情報(障害児給付費) ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



※1: 政令市で受給者証に記載する市町村番号を行政区毎に分けている場合であっても、政令市単位で1ファイルとする

※2: 同じサービス提供月に複数回高額費の支給(差分)があった場合は、複数のレコードとなる

1. 3. 3 取込エラーリスト

(1) 障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報取込エラーリスト (G2A1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(2) 障害児給付費都道府県等保有給付実績情報取込エラーリスト (D2A1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

1. 3. 4 給付実績情報チェックエラーリスト

(1) 障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報チェックエラーリスト (G3A1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(2) 障害児給付費都道府県等保有給付実績情報チェックエラーリスト (D3A1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

1. 4 給付実績交換の考え方

1. 4. 1 障害福祉サービス費の基本的な考え

(1) 給付実績交換情報の種類

交換情報 識別番号	情報名	内容	備考
G111	障害福祉サービス費 市町村保有給付実績情報 ・月次 ・市町村⇒国保連合会	①国保連合会で行う高額障害福祉サービス費の高額計算に必要な情報(市町村で支払った特例介護給付費・特例訓練等給付費、補装具費分のみの情報(※))。 ②既に支払った高額障害福祉サービス費の修正を行うために必要な情報。また、受給者に支払う前的高額障害福祉サービス費の取消を行うために必要な情報。	・高額障害福祉サービス費の計算を業務委託しない場合は、本情報の提出は不要。
G121	障害福祉サービス費 市町村保有給付実績更新結果情報 ・月次 ・国保連合会⇒市町村	①国保連合会で「G111 障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報」を更新した結果を提供する情報。	
G131	障害福祉サービス費 国保連合会保有給付実績情報 ・依頼時 ・国保連合会⇒市町村	①市町村から提供依頼があった場合に、国保連合会で支払業務を行った給付実績(現物給付分のみ)の情報 ②国保連合会にて保有している高額障害福祉サービス費の情報。	・高額障害福祉サービス費の計算を業務委託しない場合は、本情報は作成できない。

(※) 国保連合会で行う高額障害福祉サービス費の高額計算に必要な情報(市町村で支払った特例介護給付費・特例訓練等給付費、補装具費分のみの給付実績情報)は、次のケースを想定している。

- ①基準該当サービスを受領委任契約せず、市町村に請求し、市町村で支払を行うケース
- ②支給決定前にサービスを利用し、償還払いで市町村が支払を行うケース
- ③障害福祉サービスの受給者の同一世帯内に補装具費に係る利用者負担が発生しているケース

(2) レコード構成

①障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報(G111)の場合

No	レコード名称	内容	備考
1	基本情報レコード	高額計算で使用する情報。	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児入所給付については、償還払分は発生しないため、本情報の提出は不要。 ・「整理番号」の設定方法は、介護保険と同様に、市町村内で一意となるように設定する。
2	日数情報レコード		
3	明細情報レコード		
4	集計情報レコード		
5	契約情報レコード		
6	高額費支給レコード	高額 of 修正・取消をする情報。	<ul style="list-style-type: none"> ・過誤申立書情報を提出し再請求を行った場合、高額障害福祉サービス費についても再計算され、差額分が支払われる。そのため、本情報の提出は不要。
7	補装具費支給レコード	補装具費の新規・修正・取消をする情報。	<ul style="list-style-type: none"> ・同一世帯内に補装具費の支給対象者が存在しない場合、本情報の提出は不要。

②障害福祉サービス費市町村保有給付実績更新結果情報(G121)の場合

No	レコード名称	内容	備考
1	基本情報レコード	内容については、①と同様。	
2	日数情報レコード		
3	明細情報レコード		
4	集計情報レコード		
5	契約情報レコード		
6	高額費支給レコード		
7	補装具費支給レコード		

③障害福祉サービス費国保連合会保有給付実績情報(G131)の場合

No	レコード名称	内容	備考
1	基本情報レコード	国保連合会で支払業務を行った給付実績の情報。	<ul style="list-style-type: none"> ・請求支払確定後に提供することが可能。 ・過誤分については、給付実績情報作成区分を「3:取消」で作成。 ・「整理番号」の設定方法は、全て「1」を設定する。
2	日数情報レコード		
3	明細情報レコード		
4	集計情報レコード		
5	契約情報レコード		
6	高額費支給レコード	国保連合会にて保有している高額障害福祉サービス費の情報。	<ul style="list-style-type: none"> ・高額障害福祉サービス費支給処理の支払データ等作成後に提供することが可能。 ・基準該当サービスを受領委任で行う場合の特例介護給付費・特例訓練等給付費の明細書で利用者負担上限額を超過した分を高額障害福祉サービス費に振り替えている分については、本レコードでは提供せず、基本情報・集計情報レコードの「高額障害福祉サービス費」にて提供する。

1. 4. 2 障害児給付費の基本的な考え

(1) 給付実績交換情報の種類

交換情報 識別番号	情報名	内容	備考
D111	障害児給付費都道府県等 保有給付実績情報 ・月次 ・市町村⇒国保連合会	①国保連合会で行う高額障害児通所給付費の 高額計算に必要な情報(市町村で支払った 特例障害児通所給付費分のみの情報 (※))。	・高額障害児通所給付費 の計算を業務委託しない 場合は、本情報の提出 は不要
		②既に支払った高額障害児通所給付費の修正 を行うために必要な情報。また、受給者に支 払う前的高額障害児通所給付費の取消を行 うために必要な情報。	
D121	障害児給付費都道府県等保 有給付実績更新結果情報 ・月次 ・国保連合会⇒市町村	①国保連合会で「D111 障害児給付費都道府県 等保有給付実績情報」を更新した結果を提 供する情報。	
D131	障害児給付費国保連合会保 有給付実績情報 ・依頼時 ・国保連合会⇒市町村	①市町村から提供依頼があった場合に、国保 連合会で支払業務を行った給付実績(現物 給付分のみ)の情報	・高額障害児通所給付費 の計算を業務委託しない 場合は、本情報は作成 できない。
		②国保連合会にて保有している高額障害児給 付費の情報。	

(※) 国保連合会で行う高額障害児通所給付費の高額計算に必要な情報(市町村で支払った特例障害児通所給付費分のみの給付実績情報)は、次のケースを想定している。

- ①基準該当サービスを受領委任契約せず、市町村に請求し、市町村で支払を行うケース
- ②支給決定前にサービスを利用し、償還払いで市町村が支払を行うケース

(2)レコード構成

①障害児給付費都道府県等保有給付実績情報(D111)の場合

No	レコード名称	内容	備考
1	基本情報レコード	高額計算で使用する情報。	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児入所支援については、償還払分は発生しないため、本情報の提出は不要 ・「整理番号」の設定方法は、介護保険と同様に、市町村内で一意となるように設定する。
2	日数情報レコード		
3	明細情報レコード		
4	集計情報レコード		
5	契約情報レコード		
6	高額費支給レコード	高額の変更・取消をする情報。	<ul style="list-style-type: none"> ・過誤申立書情報を提出し再請求を行った場合、高額障害児通所給付費についても再計算され、差額分が支払われる。そのため、本情報の提出は不要。

②障害児給付費都道府県等保有給付実績更新結果情報(D121)の場合

No	レコード名称	内容	備考
1	基本情報レコード	内容については、①と同様。	
2	日数情報レコード		
3	明細情報レコード		
4	集計情報レコード		
5	契約情報レコード		
6	高額費支給レコード		

③障害児給付費国保連合会保有給付実績情報(D131)の場合

No	レコード名称	内容	備考
1	基本情報レコード	国保連合会で支払業務を行った給付実績の情報。	<ul style="list-style-type: none"> ・請求支払確定後に提供することが可能。 ・過誤分については、給付実績情報作成区分を「3:取消」で作成。 ・「整理番号」の設定方法は、全て「1」を設定する。
2	日数情報レコード		
3	明細情報レコード		
4	集計情報レコード		
5	契約情報レコード		
6	高額費支給レコード	国保連合会にて保有している高額障害児給付費の情報。	<ul style="list-style-type: none"> ・高額障害児給付費支給処理の支払データ等作成後に提供することが可能。 ・基準該当サービスを受領委任で行う場合の特例障害児通所給付費の明細書で利用者負担上限額を超過した分を高額障害児通所給付費に振り替えている分については、本レコードでは提供せず、基本情報・集計情報レコードの「高額障害児通所給付費」にて提供する。

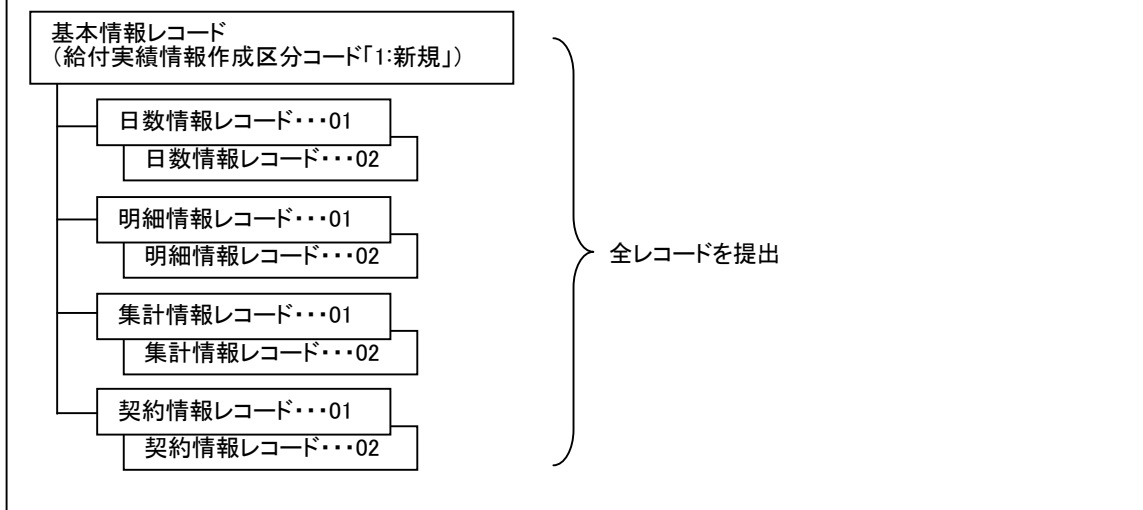
1. 4. 3 障害福祉サービス費のレコード作成方法

(1) 障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報(G111)

①基本情報・日数情報・明細情報・集計情報・契約情報レコード

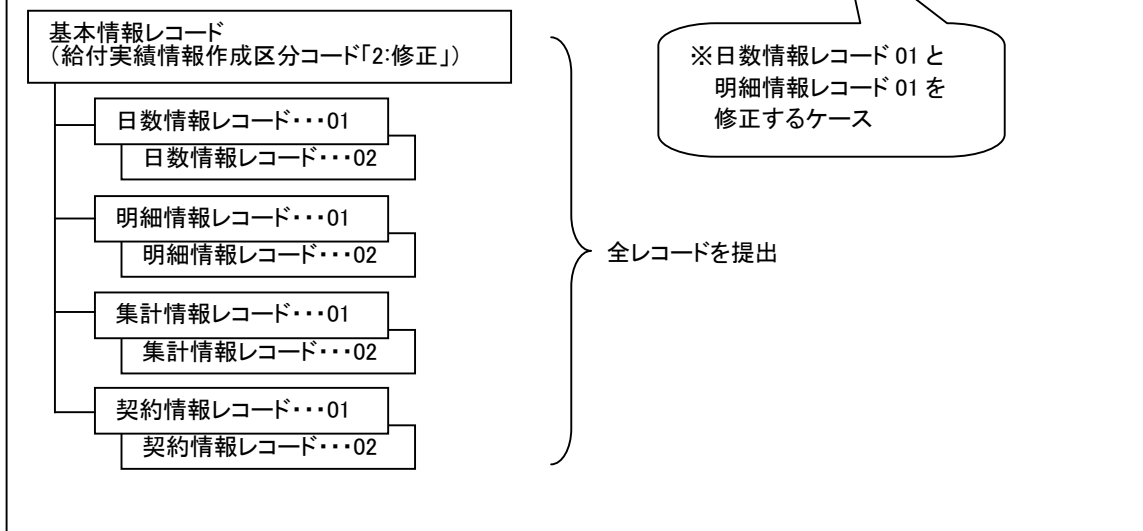
- ・新規に市町村保有給付実績情報を提出する場合

⇒給付実績情報作成区分コード「1:新規」を設定し、全レコードを提出する。

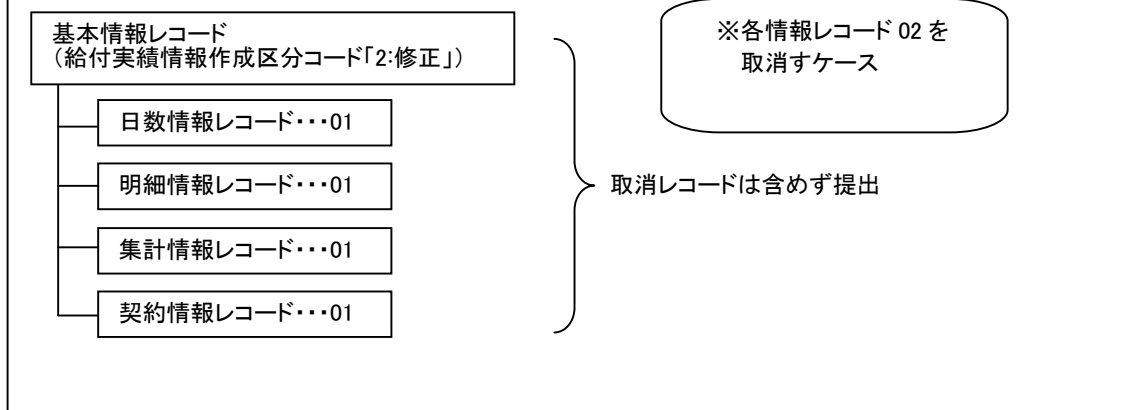


- ・提出した市町村保有給付実績情報の修正を提出する場合（一部のレコード修正）

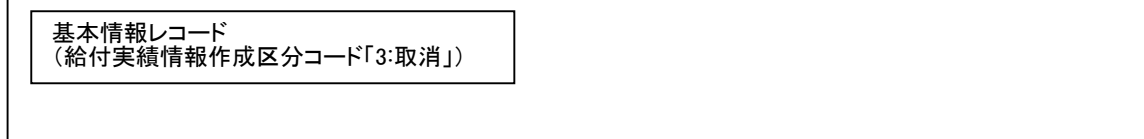
⇒給付実績情報作成区分コード「2:修正」を設定し、修正レコードも含め全レコードを提出する。



- ・ 提出した市町村保有給付実績情報を一部のレコード取消する場合
⇒ 給付実績情報作成区分コード「2:修正」を設定し、取消レコードを含めず全レコードを提出する。



- ・ 提出した市町村保有給付実績情報を全て取消する場合
⇒ 給付実績情報作成区分コード「3:取消」を設定し、基本情報レコードのみを提出する。



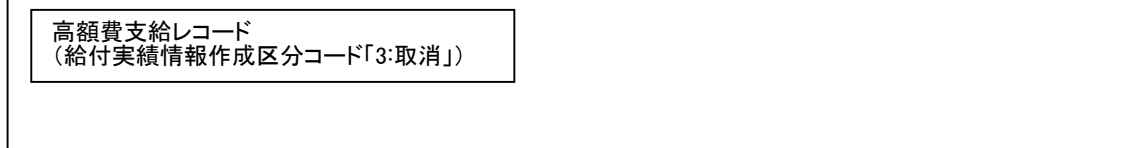
注) 同一キー（証記載市町村番号・受給者証番号・サービス提供年月・事業所番号）の給付実績の取消を行い、新規で再度登録する場合は、同一ファイルに取消データと新規データを作成してはならない（給付実績更新結果情報を受理後、新規データを作成する）。

②高額費支給レコード

- ・ 提出した市町村保有給付実績情報の修正を提出する場合
⇒ 給付実績情報作成区分コード「2:修正」を設定し提出する。



- ・ 提出した市町村保有給付実績情報を取消する場合
⇒ 給付実績情報作成区分コード「3:取消」を設定し提出する。



注) 高額費支給レコード

- ・ 給付実績情報を「1:新規」で提出することはできない。
- ・ 高額費支給レコードのみでも作成することができる。

③補装具費支給レコード

- ・補装具費支給レコードのみでも作成することができる。
- ・同一世帯内に補装具費の支給対象者が複数人存在する場合は、対象人数分の補装具費支給レコードを提出する。
- ・同一算定月に補装具の情報が複数ある場合、補装具費支給レコードは1件に纏めて提出する。

(2) 障害福祉サービス費市町村保有給付実績更新結果情報 (G121)

本情報は、「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1. 4. 2 (1) 障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報 」を国保連合会で更新した結果のレコードとなる。

(3) 障害福祉サービス費国保連合会保有給付実績情報 (G131)

①基本情報・日数情報・明細情報・集計情報・契約情報レコード

- ・出力依頼の受付年月（請求受付年月）に該当する給付実績情報の全レコードを市町村に提供する。また、同月請求に対する過誤申立による取下げのデータは別ファイルで作成する。

②高額費支給レコード

- ・高額障害福祉サービス費給付判定結果情報のコントロールレコードの処理対象年月に該当する高額障害福祉サービス費の給付実績情報を市町村に提供する。

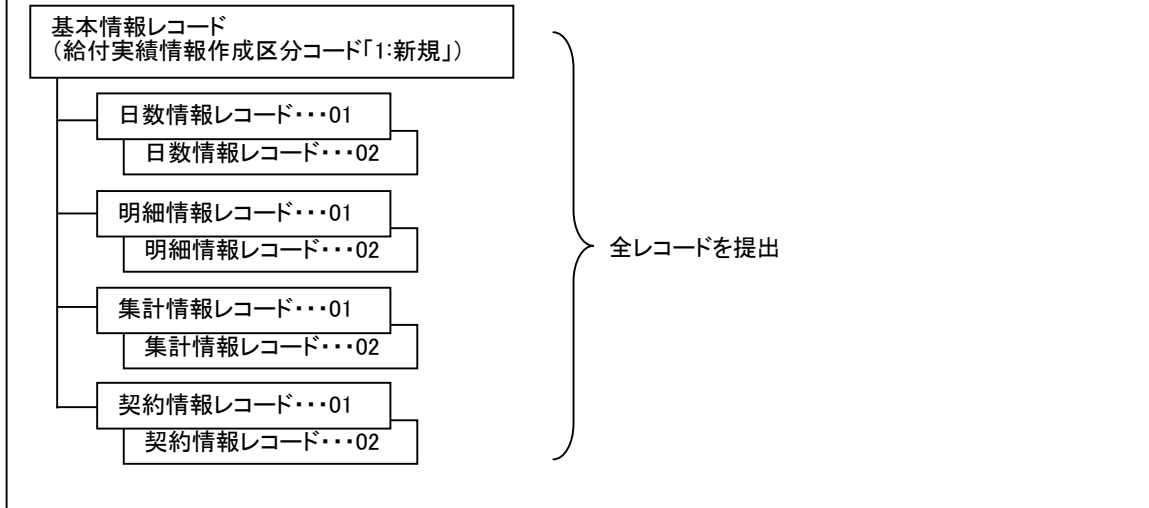
1. 4. 4 障害児給付費のレコード作成方法

(1) 障害児給付費都道府県等保有給付実績情報(D111)

①基本情報・日数情報・明細情報・集計情報・契約情報レコード

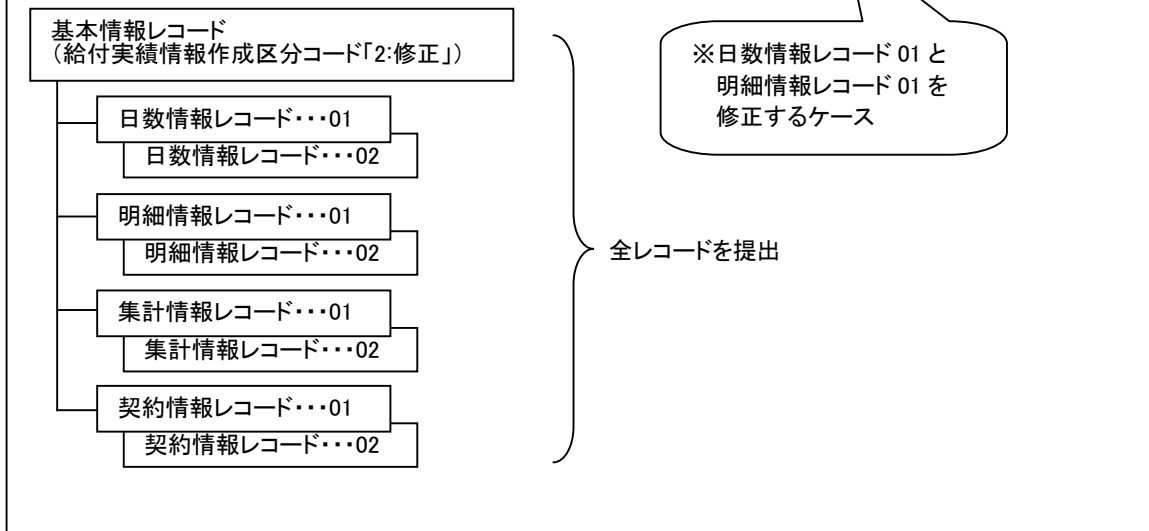
- ・新規に都道府県等保有給付実績情報を提出する場合

⇒給付実績情報作成区分コード「1:新規」を設定し、全レコードを提出する。

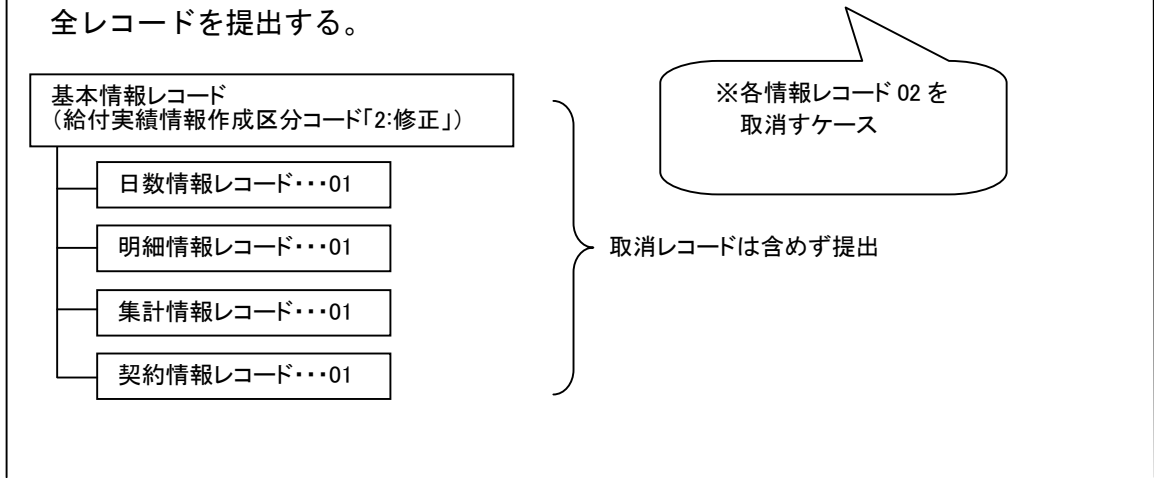


- ・提出した都道府県等保有給付実績情報の修正を提出する場合（一部のレコード修正）

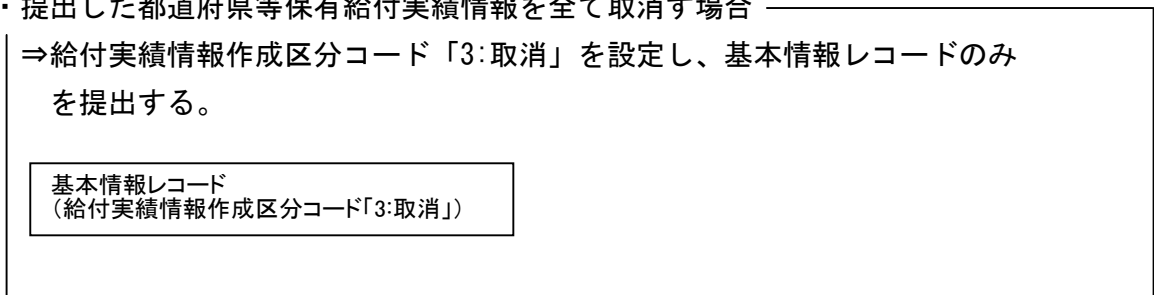
⇒給付実績情報作成区分コード「2:修正」を設定し、修正レコードも含め全レコードを提出する。



- ・ 提出した都道府県等保有給付実績情報を一部のレコード取消する場合
⇒ 給付実績情報作成区分コード「2:修正」を設定し、取消レコードを含めず全レコードを提出する。



- ・ 提出した都道府県等保有給付実績情報を全て取消する場合
⇒ 給付実績情報作成区分コード「3:取消」を設定し、基本情報レコードのみを提出する。



注) 同一キー（証記載都道府県等番号・受給者証番号・サービス提供年月・事業所番号）の給付実績の取消を行い、新規で再度登録する場合は、同一ファイルに取消データと新規データを作成してはならない（給付実績更新結果情報を受理後、新規データを作成する）。

②高額費支給レコード

- ・ 提出した都道府県等保有給付実績情報の修正を提出する場合
⇒給付実績情報作成区分コード「2:修正」を設定し提出する。

高額費支給レコード
(給付実績情報作成区分コード「2:修正」)

- ・ 提出した都道府県等保有給付実績情報を取消する場合
⇒給付実績情報作成区分コード「3:取消」を設定し提出する。

高額費支給レコード
(給付実績情報作成区分コード「3:取消」)

注) 高額費支給レコード

- ・ 給付実績情報を「1:新規」で提出することはできない。
- ・ 高額費支給レコードのみでも作成することができる。

(2) 障害児給付費都道府県等保有給付実績更新結果情報 (D121)

本情報は、「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1. 4. 4 (1) 障害児給付費都道府県等保有給付実績情報」を国保連合会で更新した結果のレコードとなる。

(3) 障害児給付費国保連合会保有給付実績情報 (D131)

①基本情報・日数情報・明細情報・集計情報・契約情報レコード

- ・ 出力依頼の受付年月(請求受付年月)に該当する給付実績情報の全レコードを市町村に提供する。また、同月請求に対する過誤申立による取下げのデータは別ファイルで作成する。

②高額費支給レコード

- ・ 高額障害児給付費給付判定結果情報のコントロールレコードの処理対象年月に該当する高額障害児給付費の給付実績情報を市町村に提供する。